

漫画

氷野広真

HINO HIROMA

原作

ほーち

キャラクター原案

saraki



えっ

転移失敗!?

.....成功?

2

第8話

003

第9話

029

第10話

055

第11話

081

第12話

107

第13話

133

第14話

163

あとがき

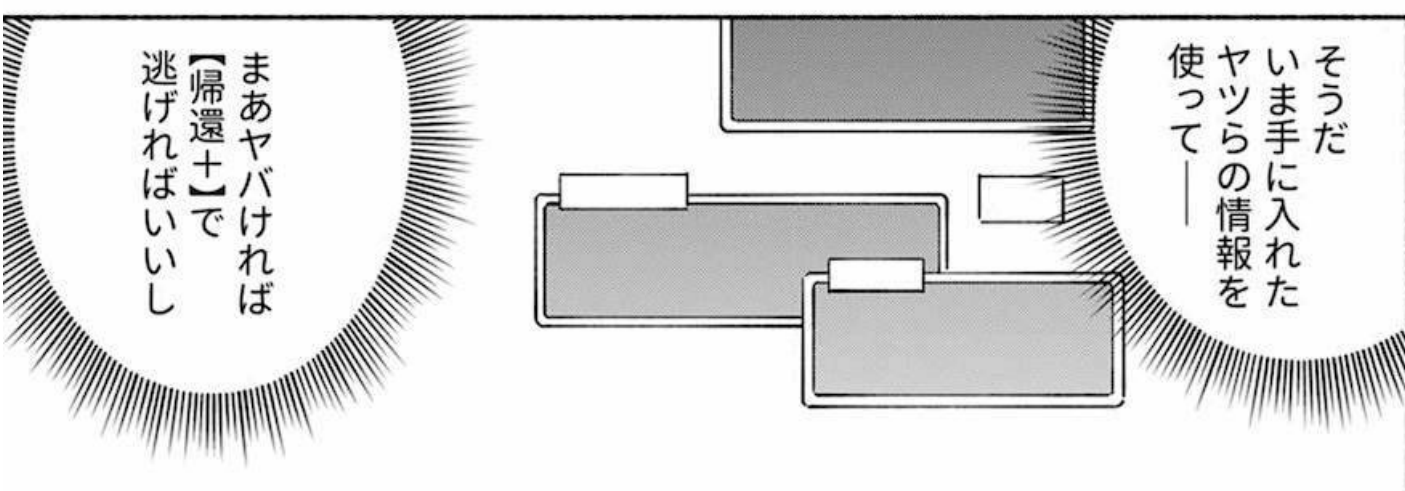
188

番外編
(第7話)

189



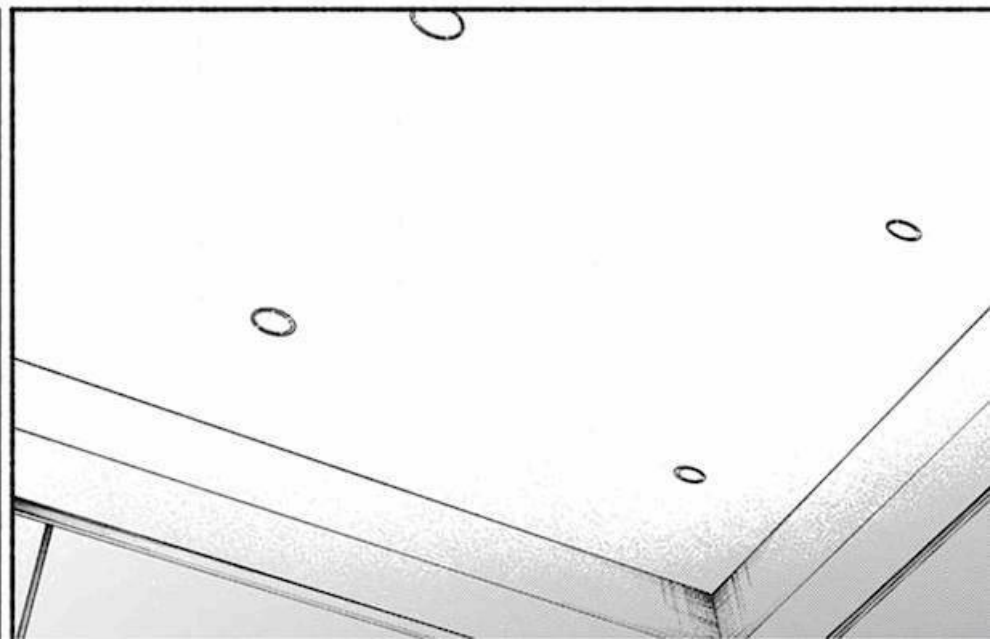






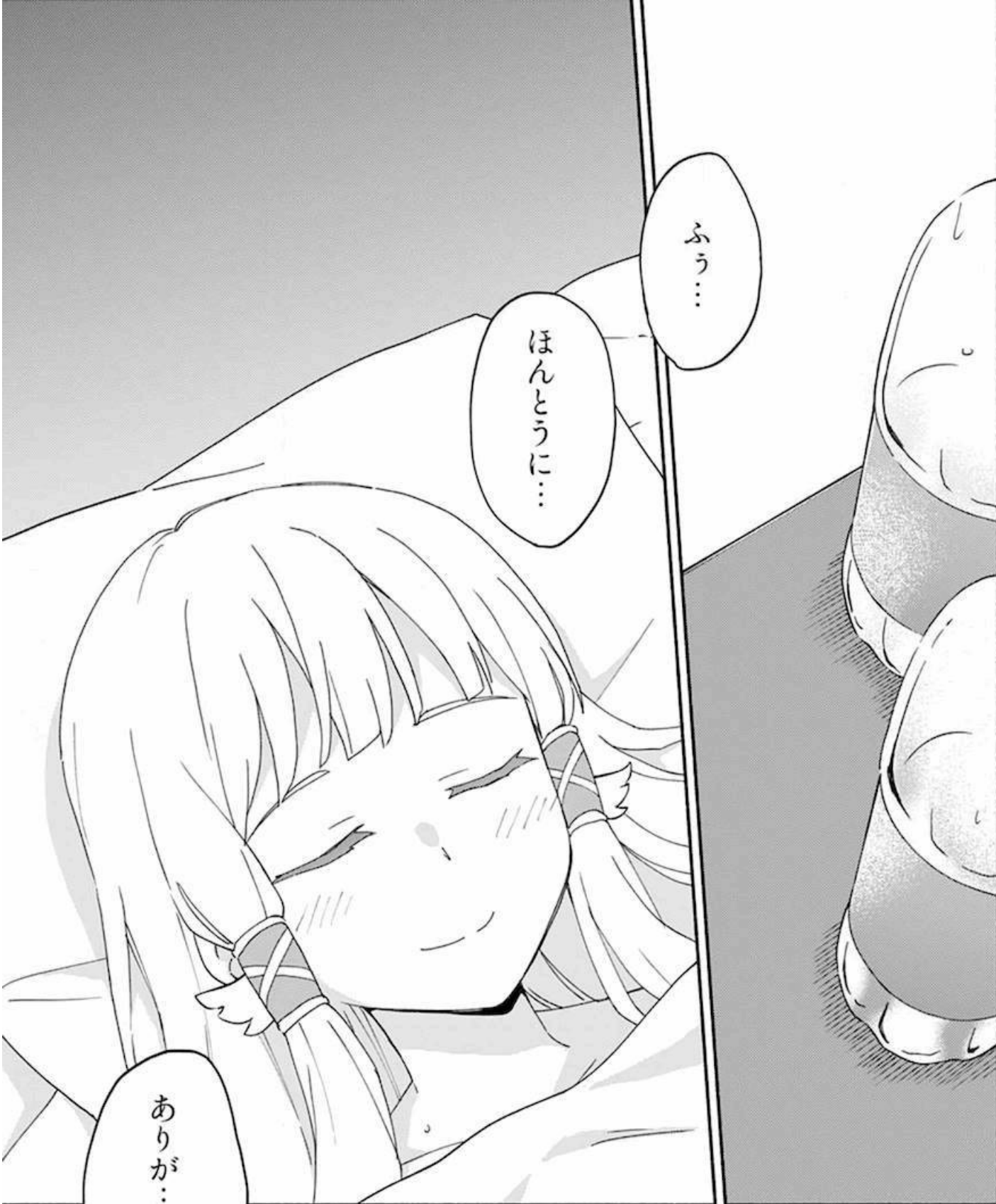












私を：
好きにしている

ドク

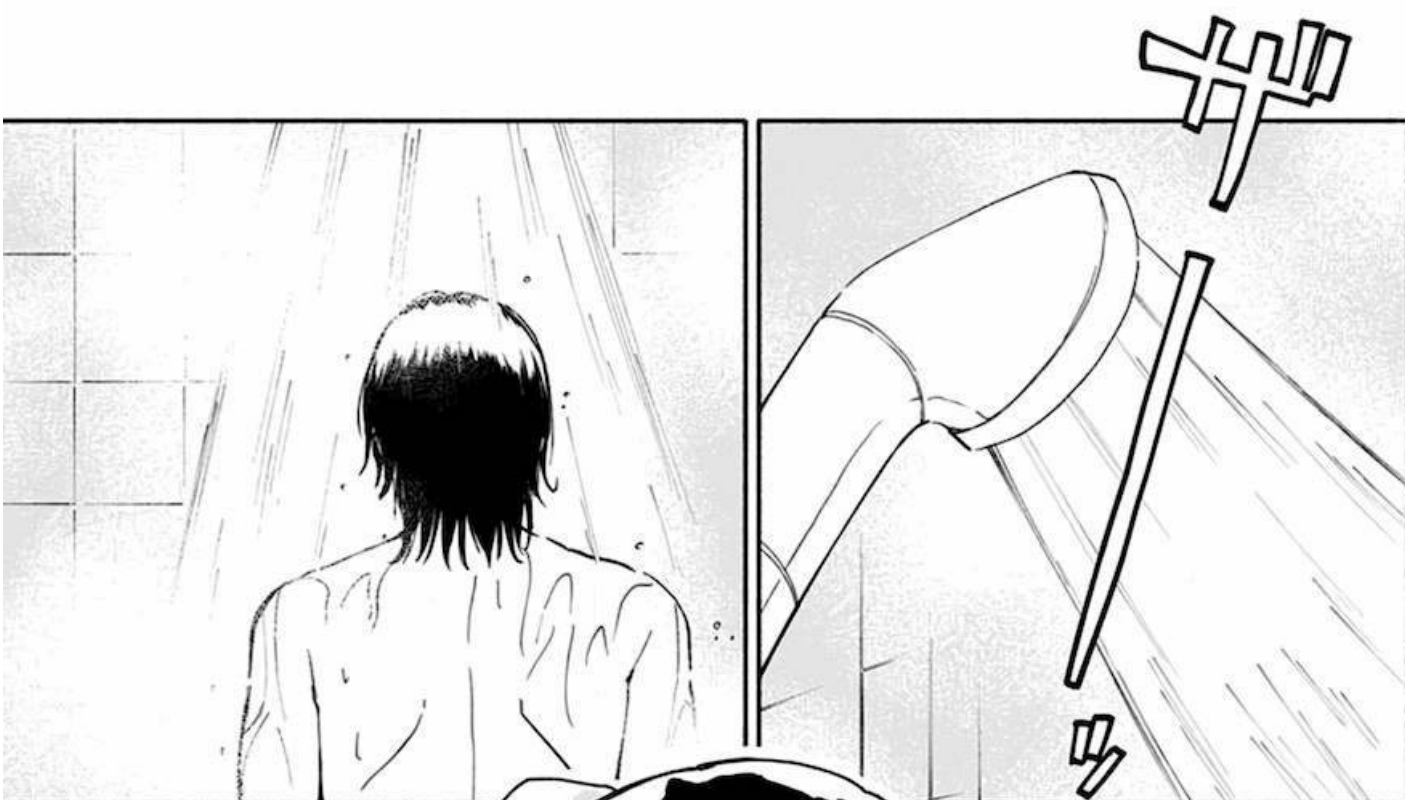
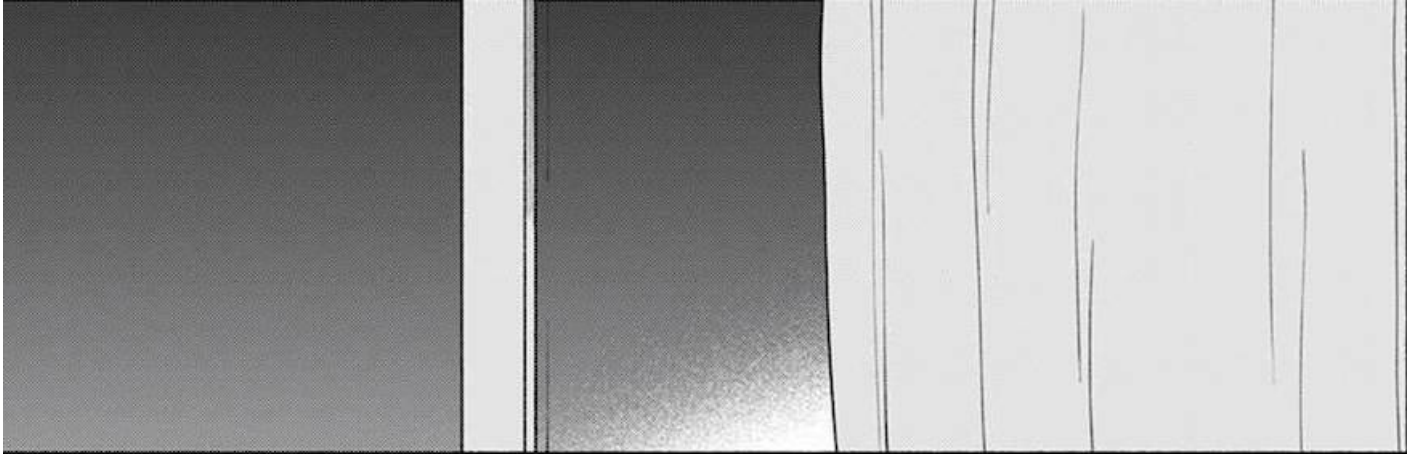
こんないい女が
してもいいと
言ってくれているのに

それを無視するのは
馬鹿なんじゃ
ないだろうか

んあっ

申し訳ないけど
1回だけ…

グン
グン



踏みとどまった

ふー...



おはよう
動けるように
なった？



ああ…
なんとか



自己紹介が
まだだったな

私はアラリーナ
冒険者だ



あ私の鎧…



俺は陽一

えっと
庶民です

ヨーチチ…
ヨーチチ殿か

うむ



直しといたけど
着る？

直した？
あれはもう
直しようがないほど
切り裂かれていた
ように思うが

まあそういう
スキルを持つて
いうことで



スキルか…
では転移もスキル
なのかな？

ま
そんなとこ

ってかよく
お気づきで

森の中にいたのが
次の瞬間には
屋内だったのだ



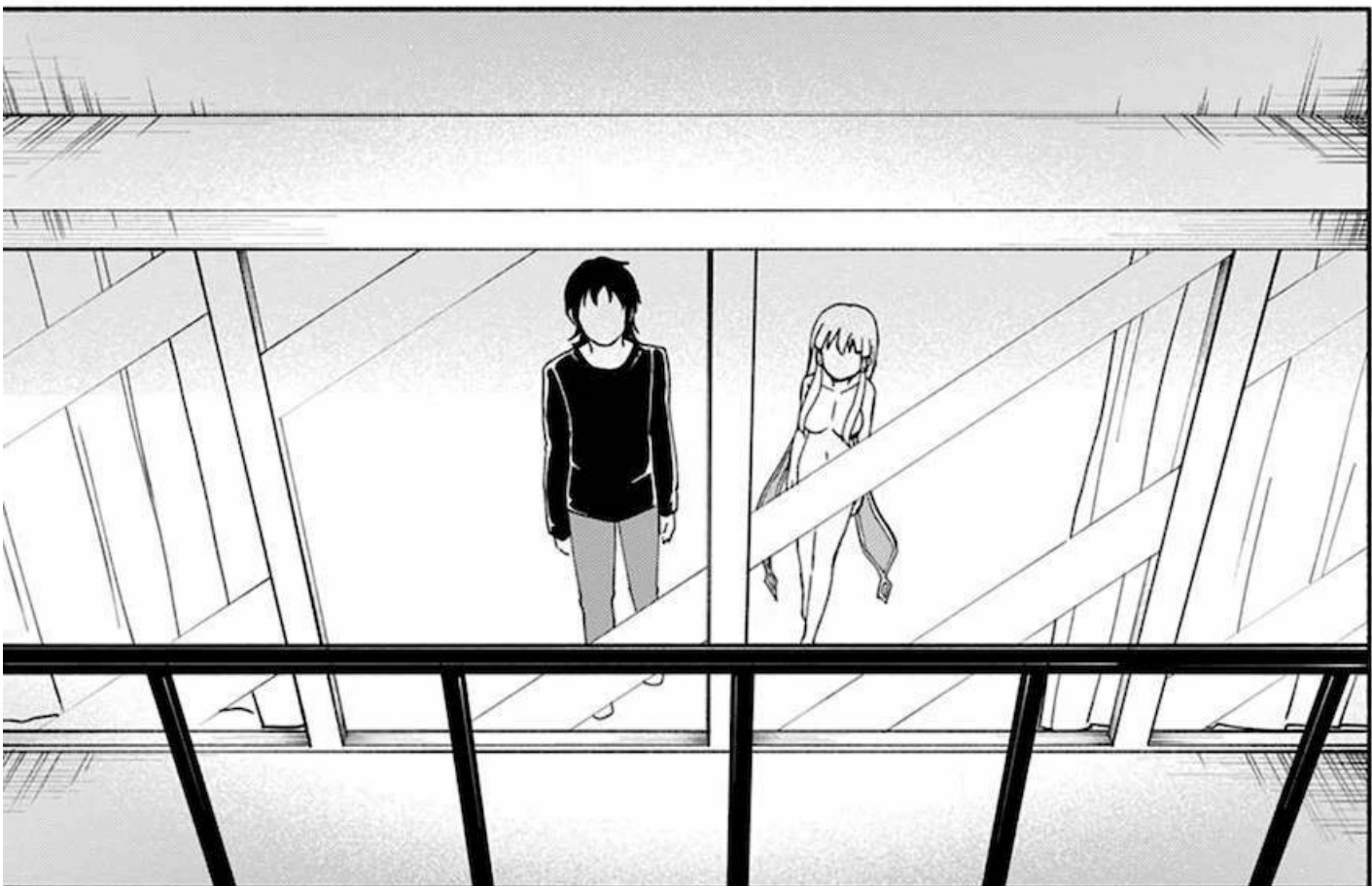
いくら意識が
朦朧と…

ぐう

むう…

あ
腹減ってるよね







これはたしかに…
見たことがない
町並みだな

でしょ

とところで
ヨーチ殿

ん？

私は…
魅力のない
女だろうか？

はい!?
なんで!?

抱いてほしいという
私の要望をヨーチ殿は
受け入れなかったから…

そそれはあのときの
アラナさんがまともな
状態じゃなかったからで

魅力がないなんて
ことはないよ!

顔はいままで会ったこと
ないくらいの美人だし

肌はすべすべで
真っ白だし
胸は大きくて
スタイルもいいし

こんな魅力的な人
俺は見たことないよ

では…
いまなら
抱いてくれるか…?

んっ

ふっ…

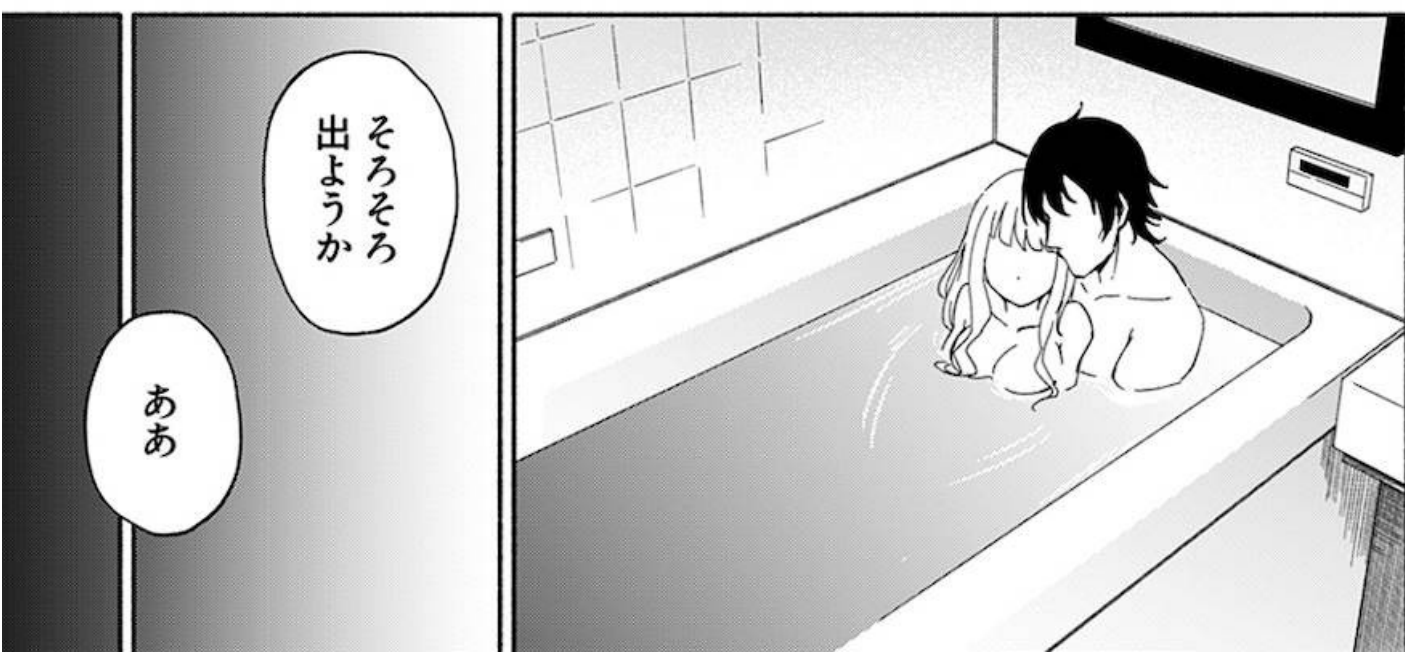














じゃじゃあ
アラーナは!?

ふふ…

すでに介入済みの
対処済みですので
ご心配なく

スキルを確認
してみてください

スキル…?

あ
増えてる

よわたりじょうず
【世渡上手】

【帰還+】などの転移によって
世界間移動を行なった場合に
起こるであろう不具合を修正・最適化
使用者および同行者に適用

えっ

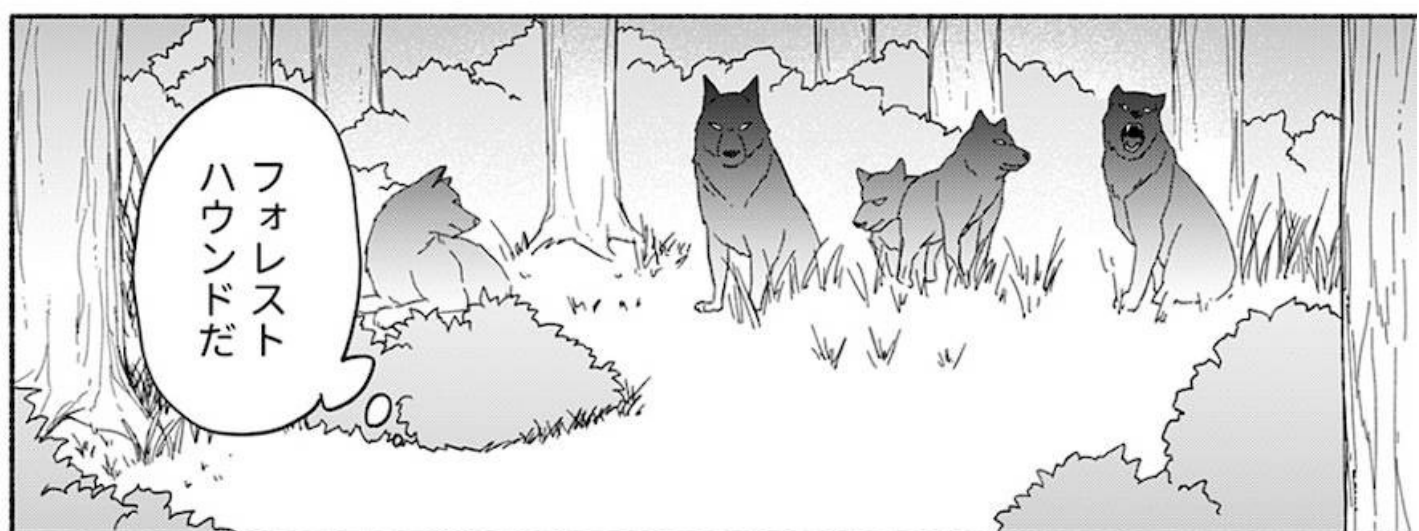
へん

おお…

こんなこともあろうかと
自動習得・適用されるよう
事前に仕込んでおいたのです







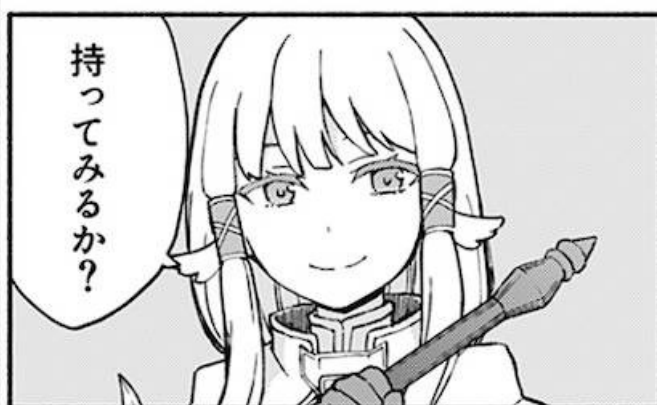




【心装】に登録した武器を
精神世界に収納すると
どれだけ破損していても
登録時の状態まで
復元されるんですよ
藤の堂さん！



ただ修復には
魔力や生命力を
消費するため
破損具合によっては
死に至ることも
ありますので
気をつけてくださいね



この斧槍には
柄と斧頭の芯に
グラビタイトという
比重が大きい鉱石が
使われていてな

グラビタイト
それ自体も重いのだが
魔力を通すことで
重さを増加させることが
可能で

最大重量は
100kgといった
ところかな

それとは別に
重さ軽減の効果が
付与されている

使用者に対して
重さを10分の1にする
この斧槍はそういう
『魔装』なんだ

武器や
防具の中には
魔術効果をもつ
ものがあります

そういった
武具のことを
『魔装』と
呼ぶんですよ

いや10分の1つつつても
3kgから10kgでしょ？

その細腕で
よく振り回せるね

私は
魔力を使った
身体強化が
得意なのでね

むん

ちなみに
それってさ
ハルバードなの？

もともとは戦斧
だったのだがな
ハルバードを見た時に
便利そうだと思って
少々手を加えたのだよ

【心装】は
精神と融合しているので
刃や柄の長さや大きさを
変える程度の形状変化が
可能である

なんにせよ
アラーナが強いつて
ことはわかったよ

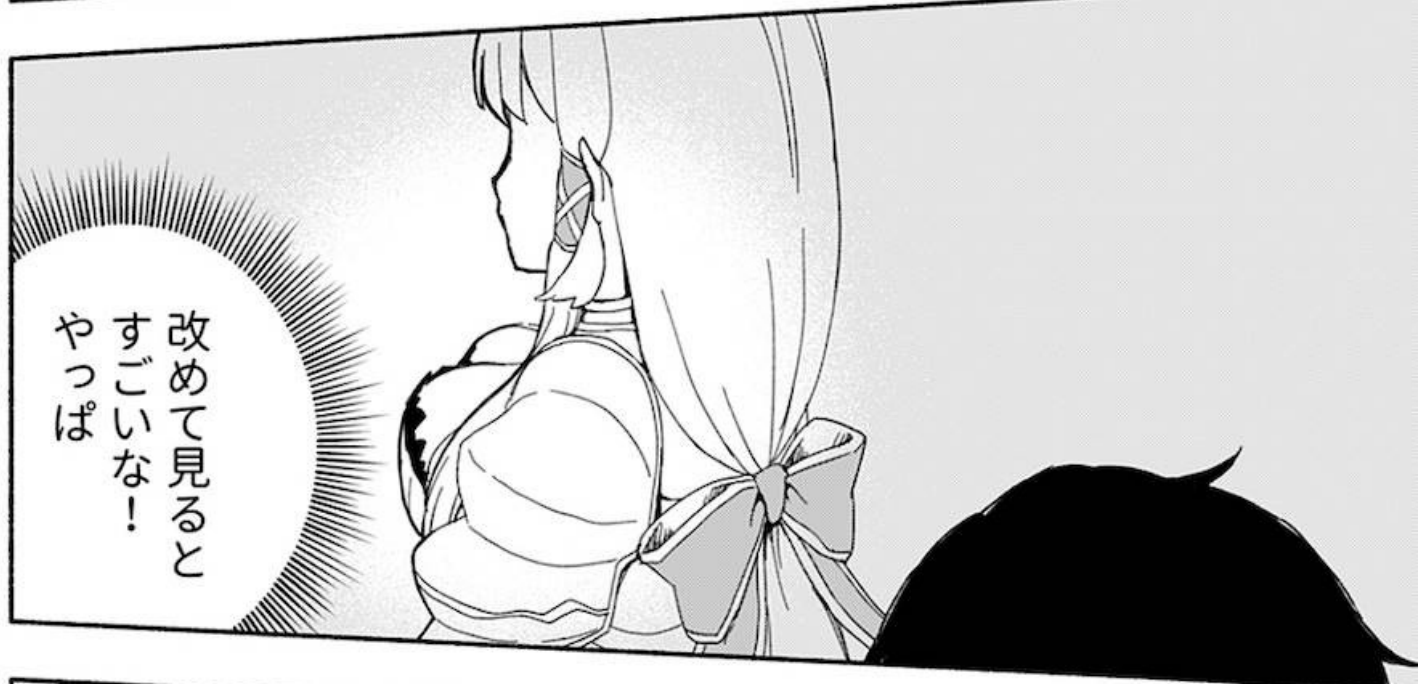
じゃあ次は
俺の番かな

ふむ
ではお手並み拝見と
いこうではないか











なあ
その鎧って
露出多すぎない？

いや
デザインとしては
いいと思うんだけど
鎧として考えると…

ふふ…では
軽く叩いてみるといい



おお？



すごいだろう？

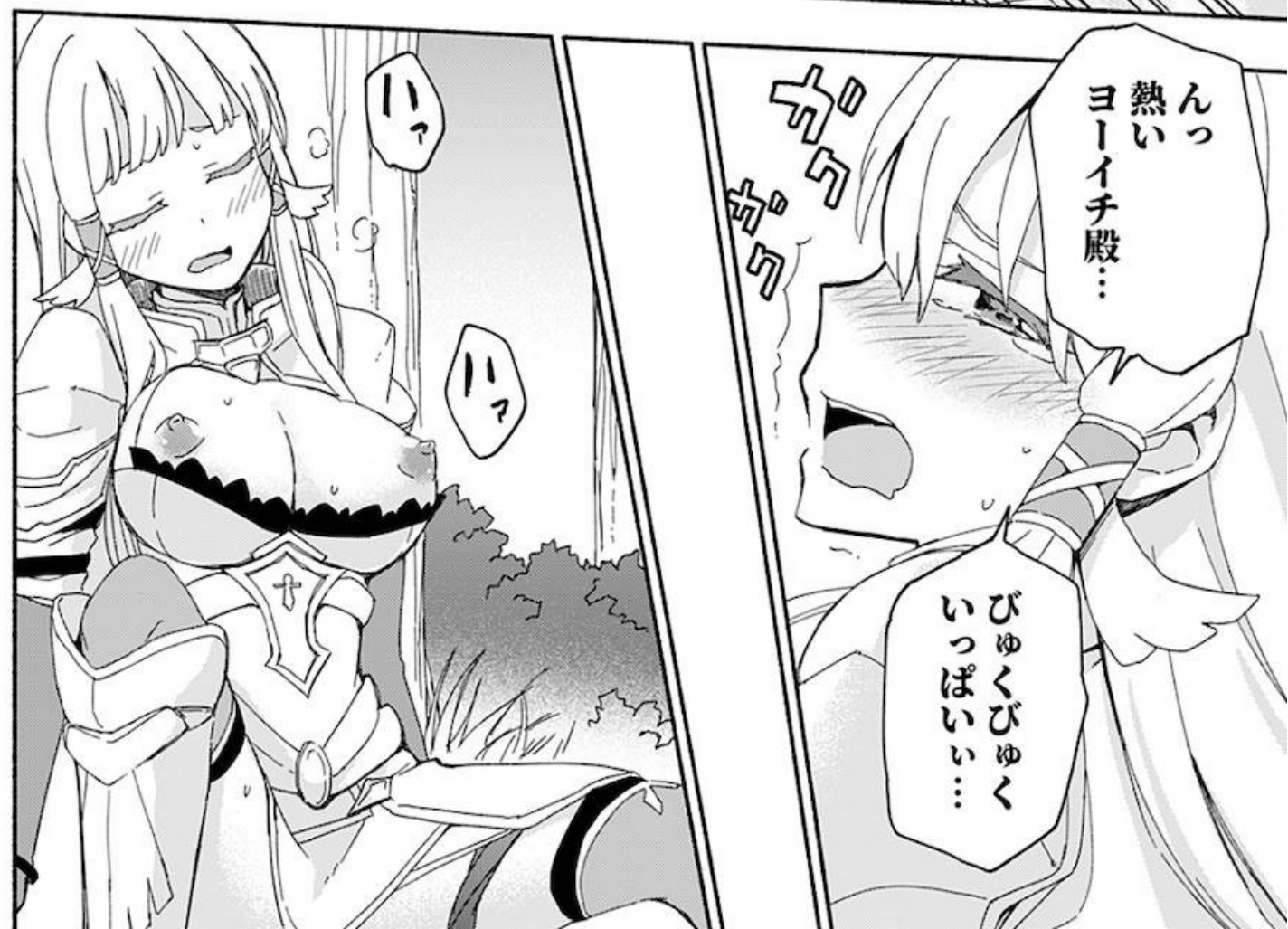
この魔装には
フルプレートメイルに
身を包んでいるのと
同じ効果があるのだ

今度は
ゆっくりと
触れてみてくれ

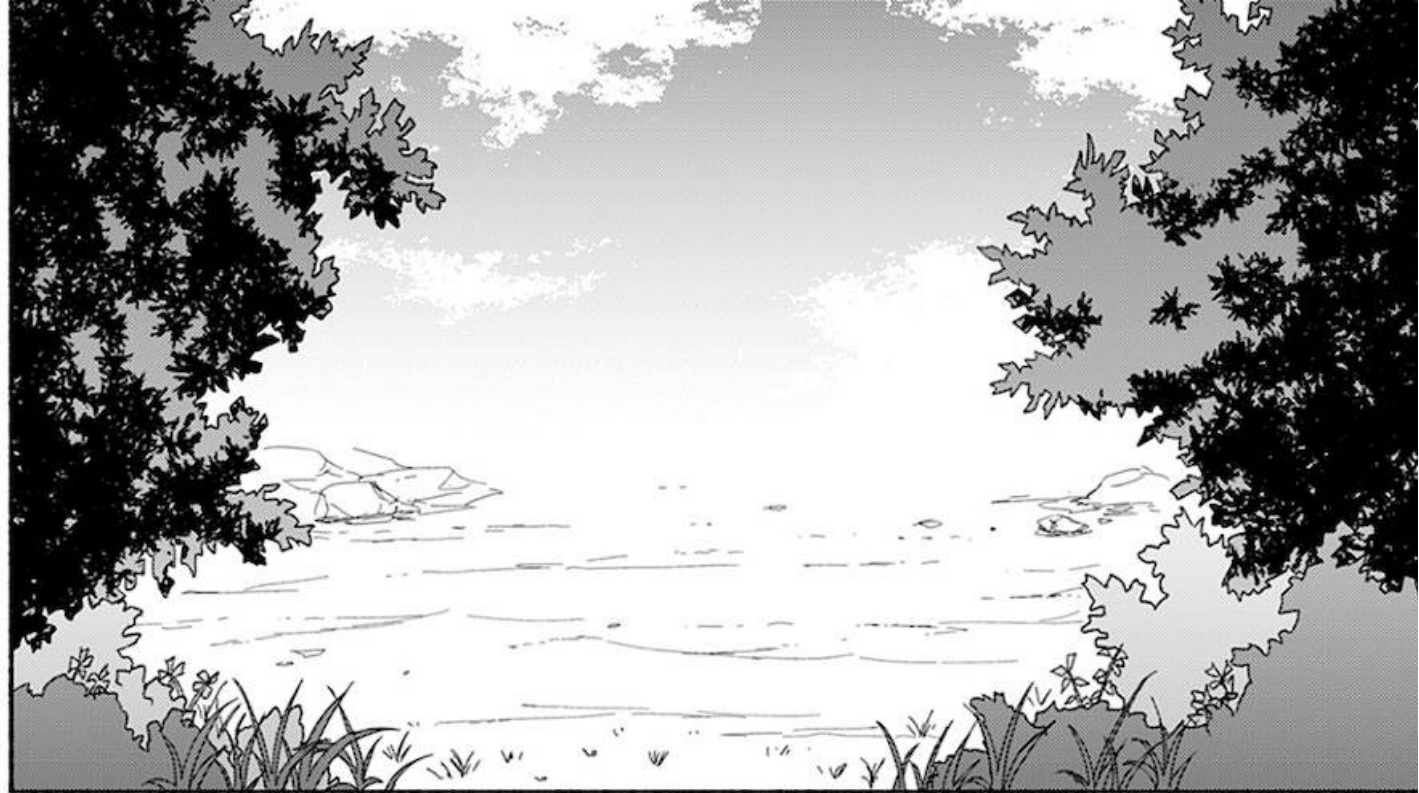
わかった

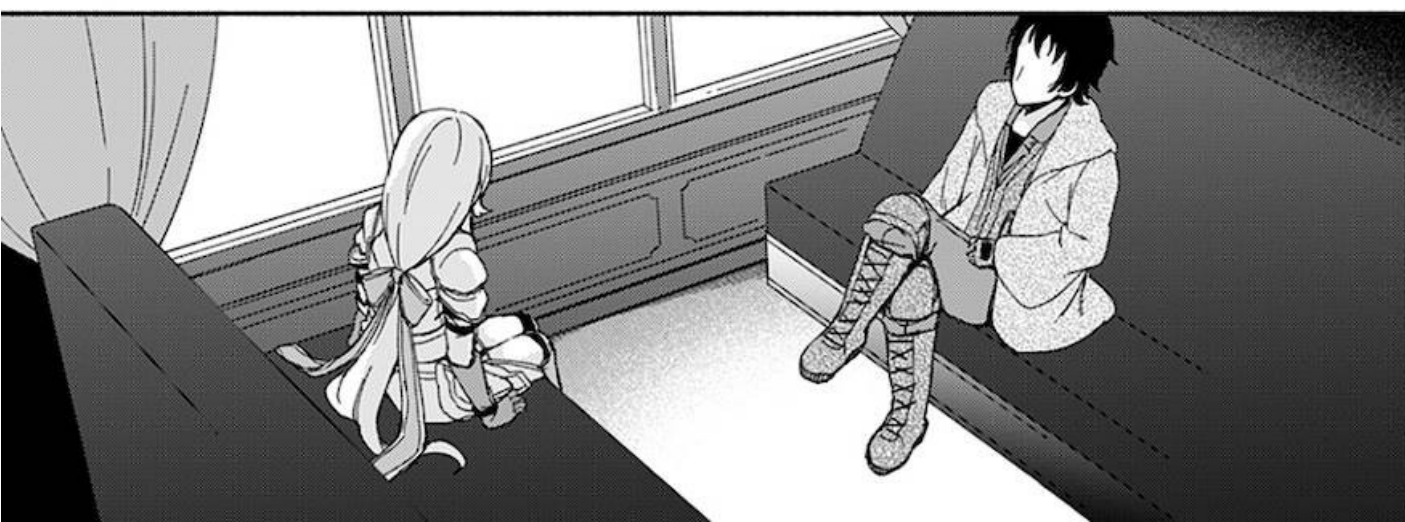
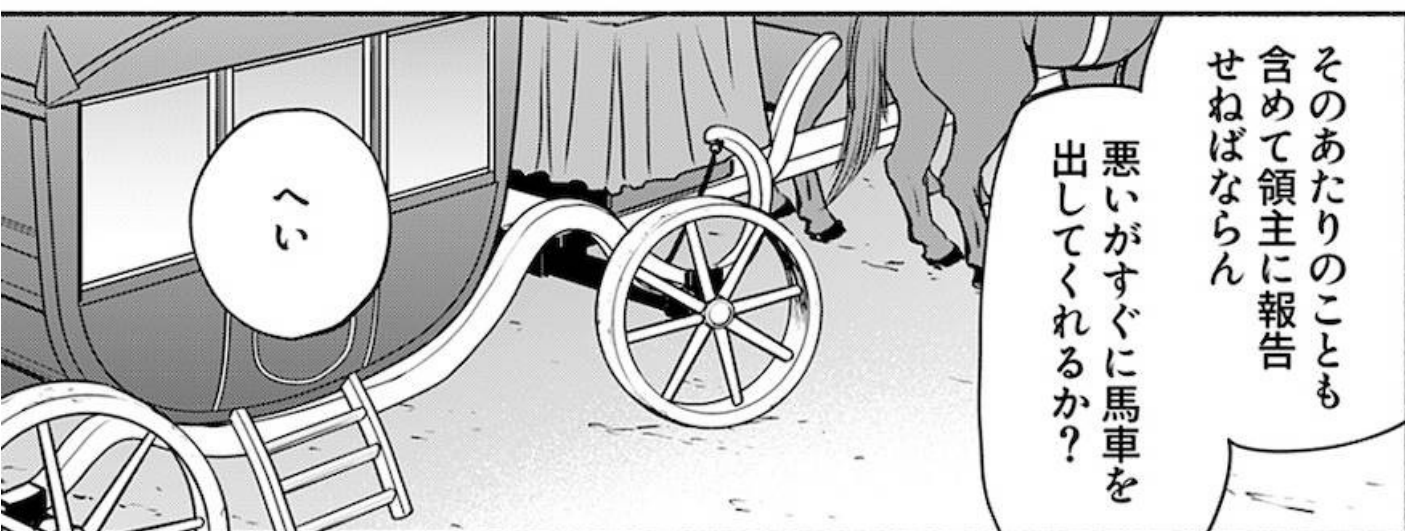




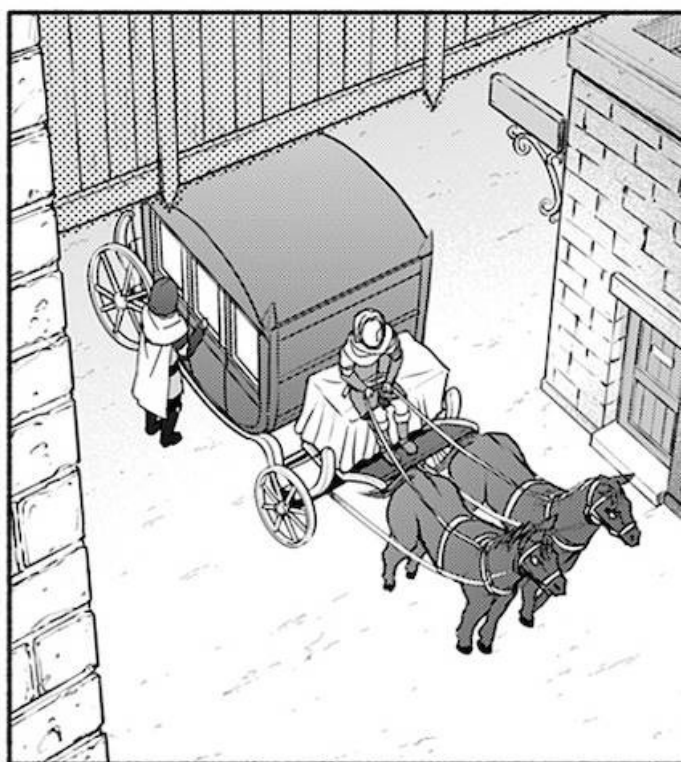


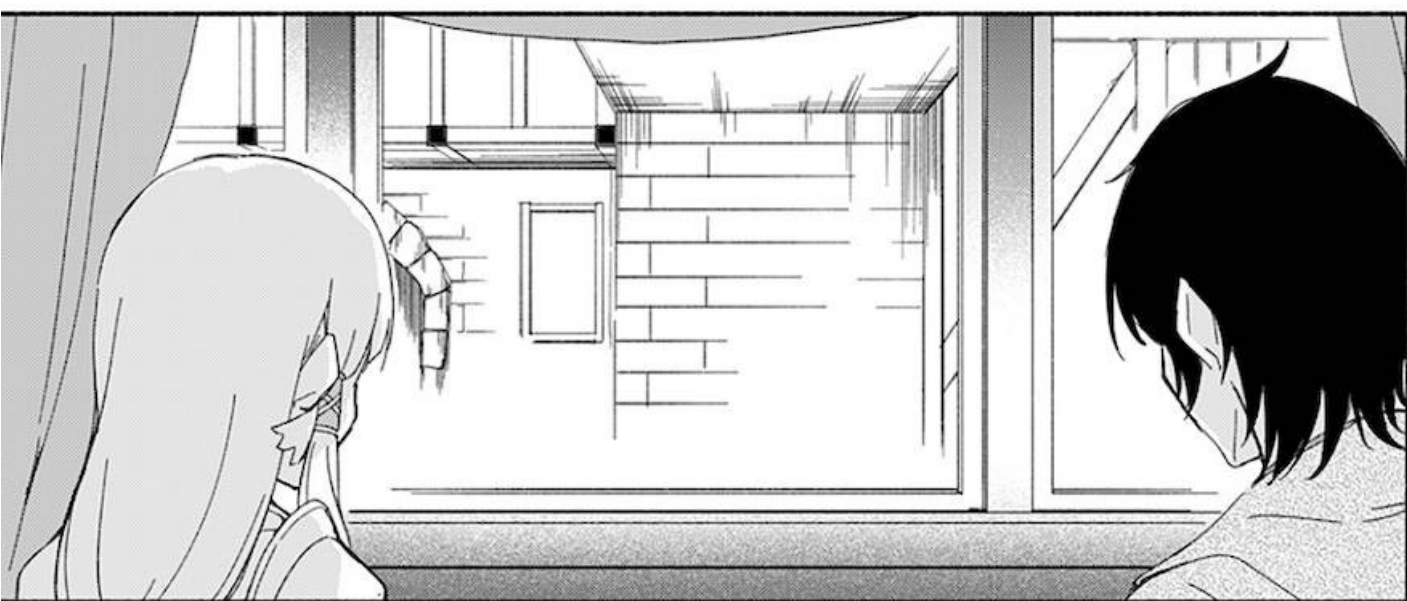






着きやしたぜ







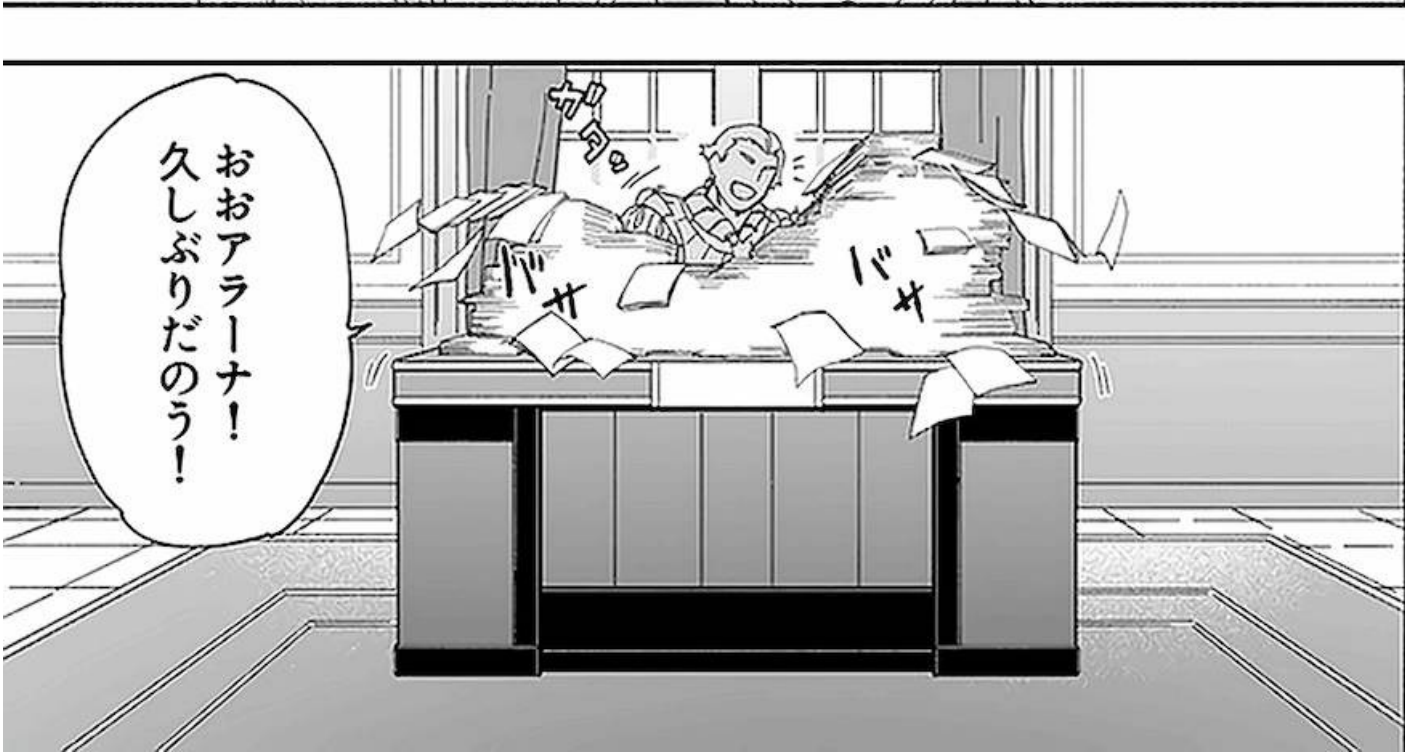
わが町

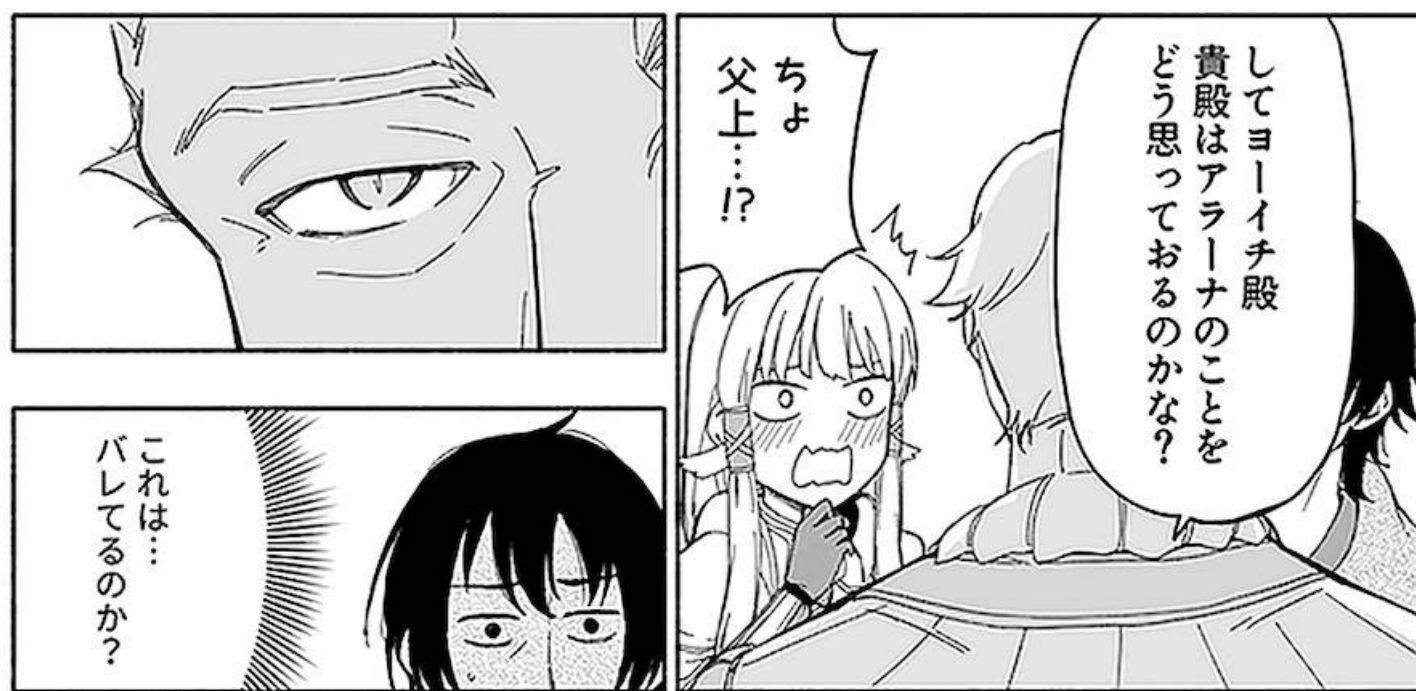
メイルグランドへ
ようこそ

ガラ

ガラ

ガラ...







しかし
本家のクソ野郎どもめ
僕の娘に
なんということをして…

この件は僕に
任せてもらう
ということだ
いいのかな？

はい
私自身の手でケリを
つけたいという思いが
なくはありませんが

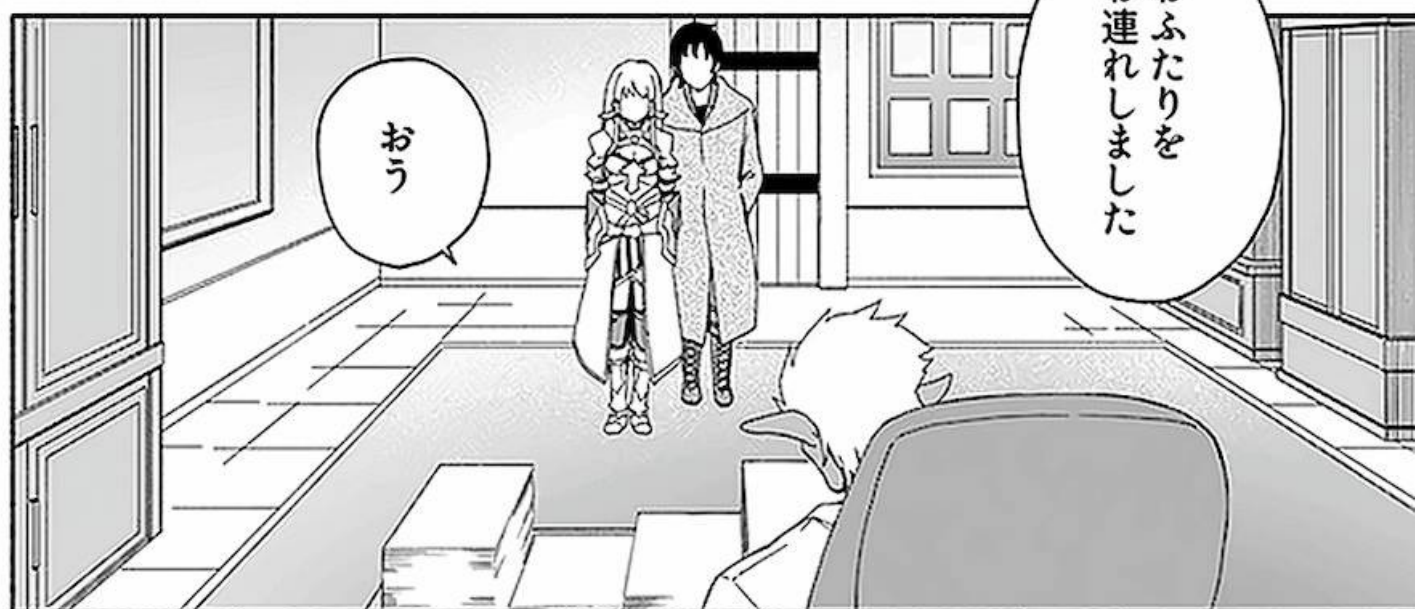
私怨を絡めるよりも
父上の手で厳正な処置を
お願いしたいと
考えております

嘘である

あんな男どものことは
すでにどうでもよく
なっていた

ああ
ヨーイチ殿…







ギルドマスター

報告に
あがりました

ズ...

でかい

にへだ

ちよっとー
アラナちゃんやあん
おじいちゃんって
呼んでよお

!?

ふう
つれないなあ

いまは冒険者
として報告に
きているのです
ギルドマスター・
セレスタン殿



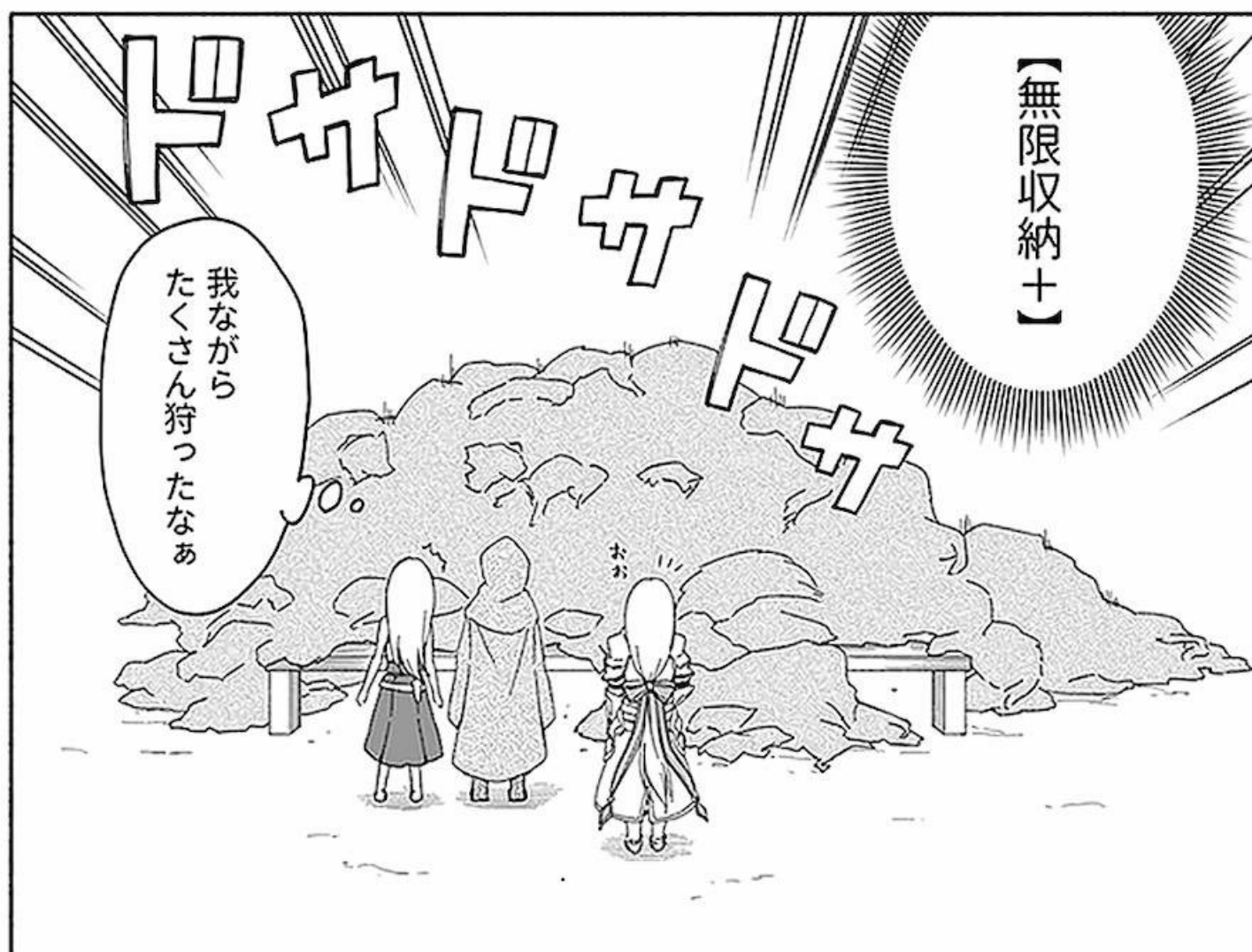


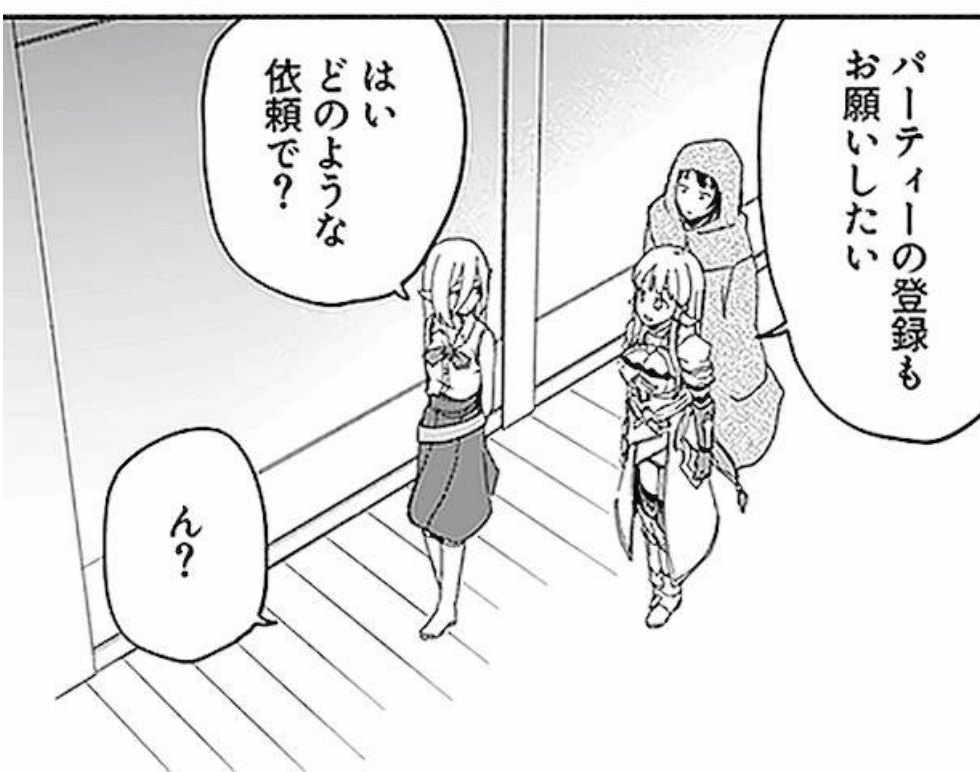
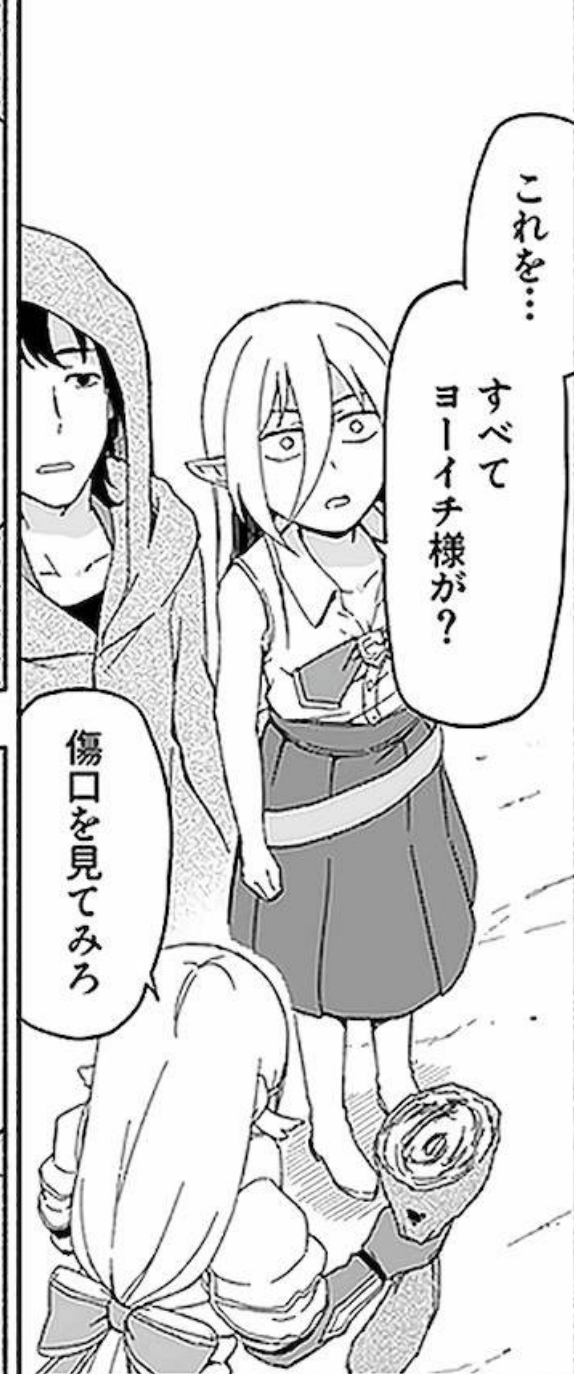














アラリーナちゃんかわええ
なにこの表情
初めて見るんですけどお
っつかアラリーナちゃんに
こんな表情させるこのおっさん
いったい何者よ
生気のない

失礼いたしました

常時パーティ
ですね

どっからどう見て
ただの冴えないおっさん
いったい何がアラリーナちゃんを
そうさせるの？

ねえあんたいったい何者よ
教えてねえおねーさんに
根掘り葉掘り教えなさいよ
あゝ気になるゝ

しかし私はプロの受付嬢
表情には出さない

パーティー名は
どうしようか？

ヨイキビの
決めていいぞ

んー

じゃあ
トコロテンで

…なんだ
それは？

いや
まあ
なんとなく

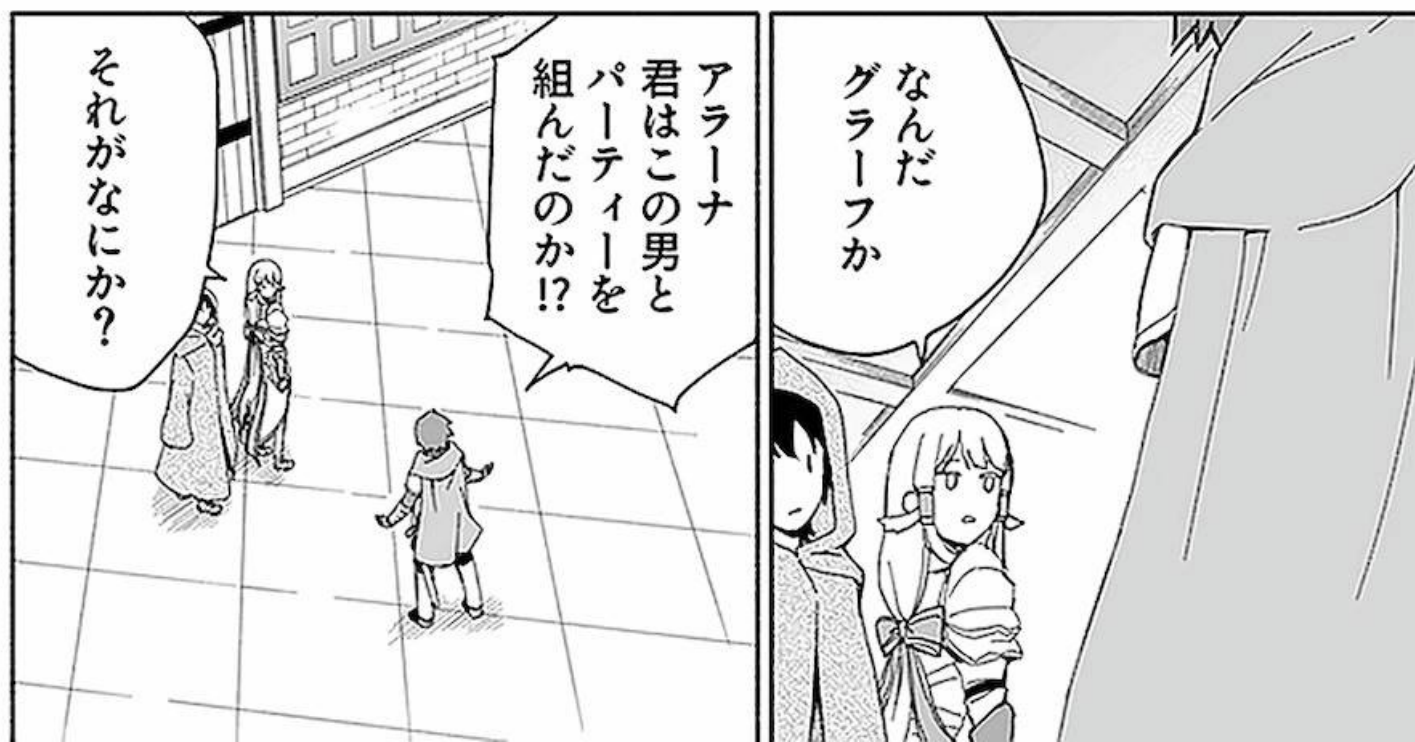
ちよっとね…

トコロテン…
トコロテン…

うむおもしろい
響きだな！

それでいこう

Gランクパーティー
『トコロテン』結成





ボクと勝負しろ!!

ボクが勝ったら
アラリーナとの
パーティーは解消して
二度と彼女の前に
現われるな!!

テンプレだなあ…

完膚なきまでに
叩きのめして
いいぞヨーイチ殿

うーん

まあいいけど
どこで勝負すんの？

ついてこい!!

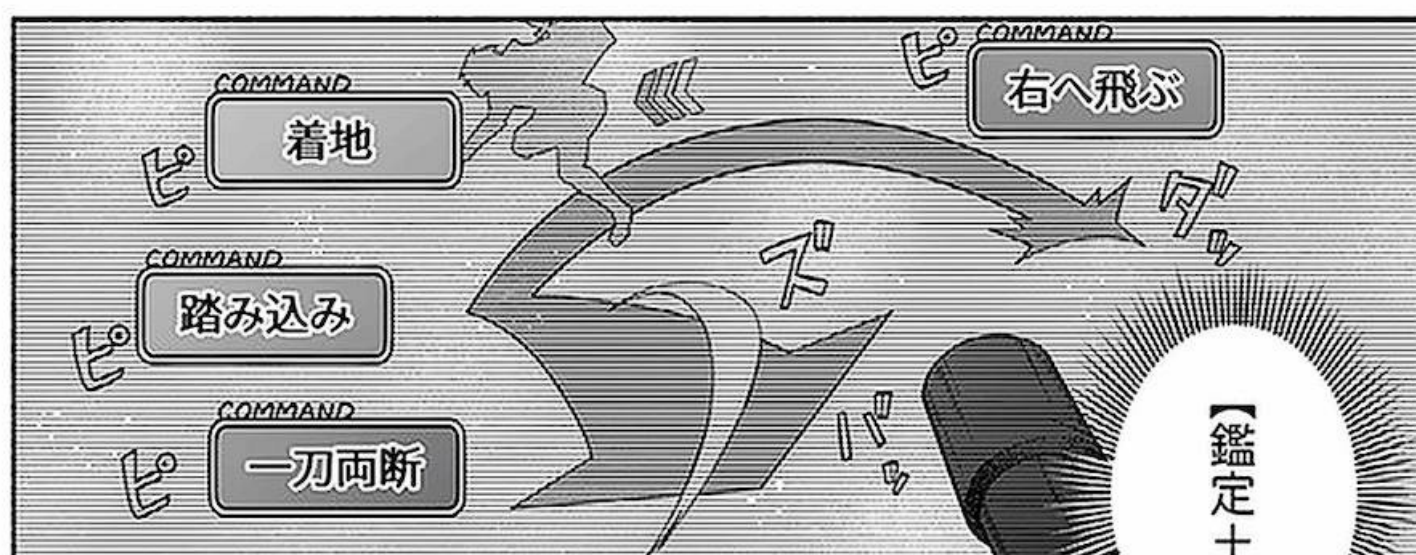
闘技場

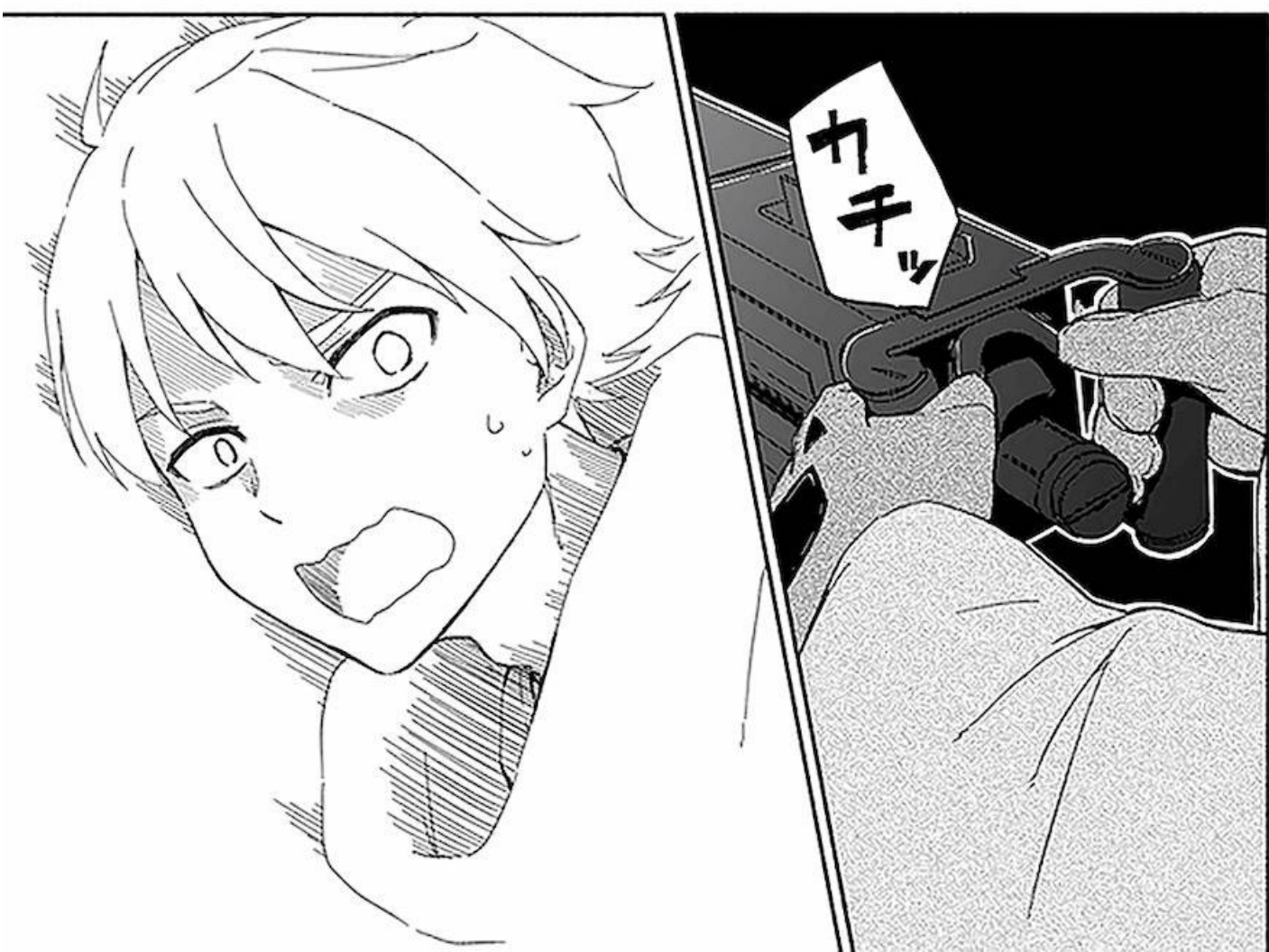
冒険者ギルドの
訓練場に設置された
魔導施設

高精度のVR
みたいなもんか？

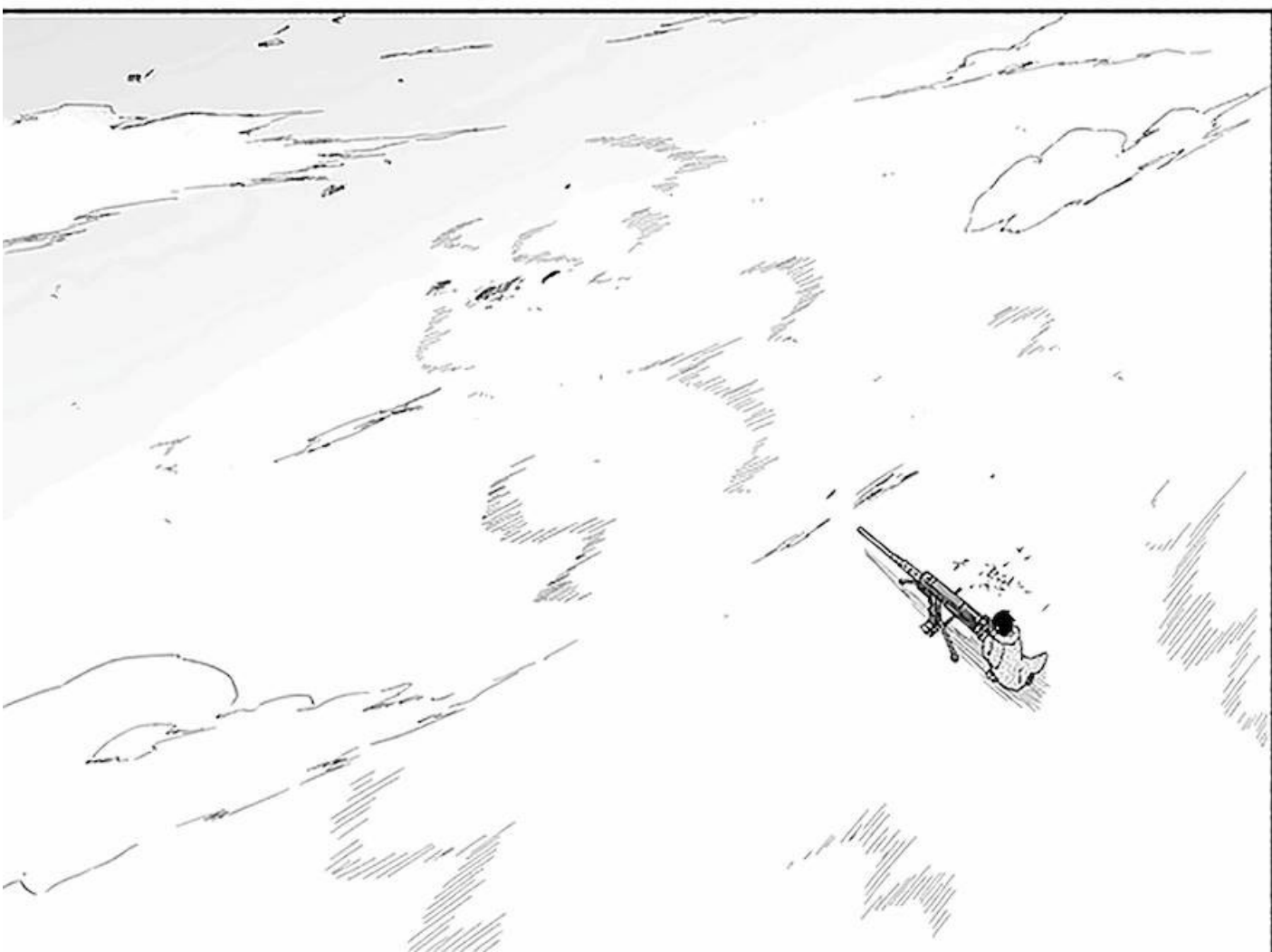
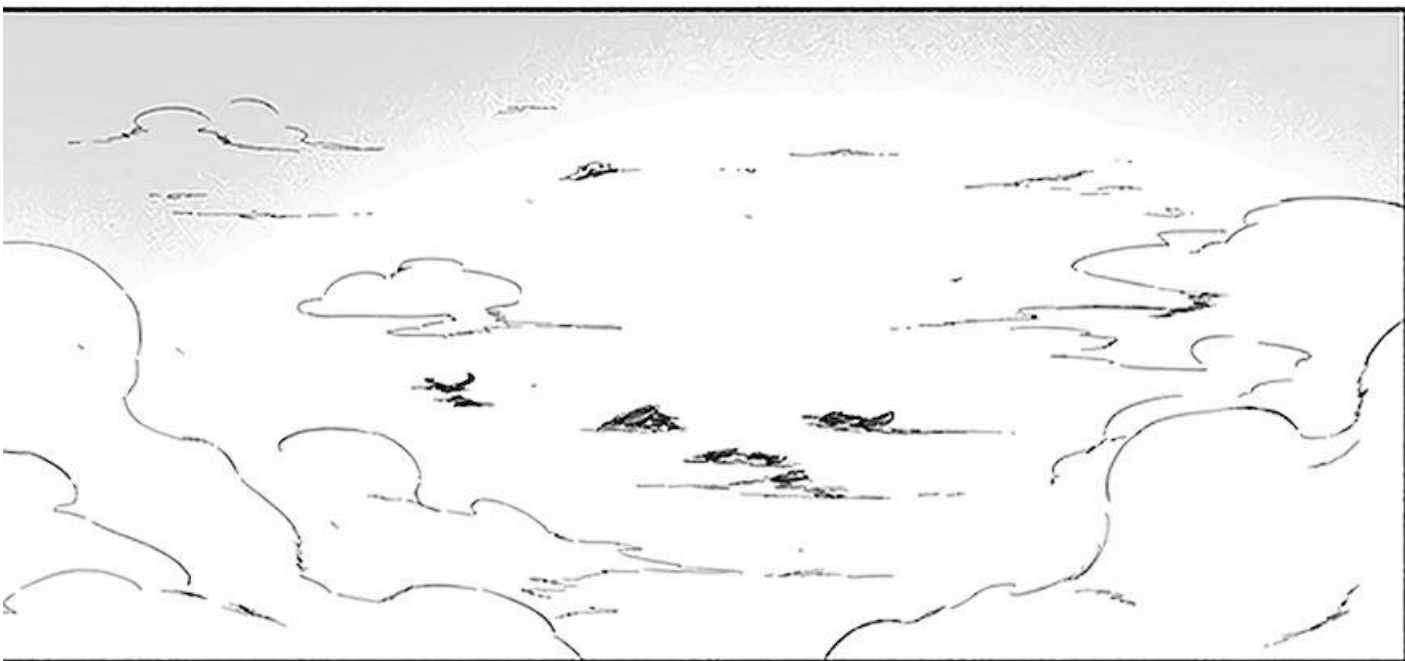
使用者の分身体同士で
戦う機能を備えており
この中では
たとえ死んでも
本体に影響はない















グラーフちゃんが
ご迷惑
おかけすました



へえ

グラーフの
パーティー
「赤い閃光」の
魔術士メリルだ



えーっと
どちらさん？

ああ君か



で
なんの用かな？

私ら田舎さ帰る
ことにしたんす

その前にひと言
お詫びをと…



あらまあ

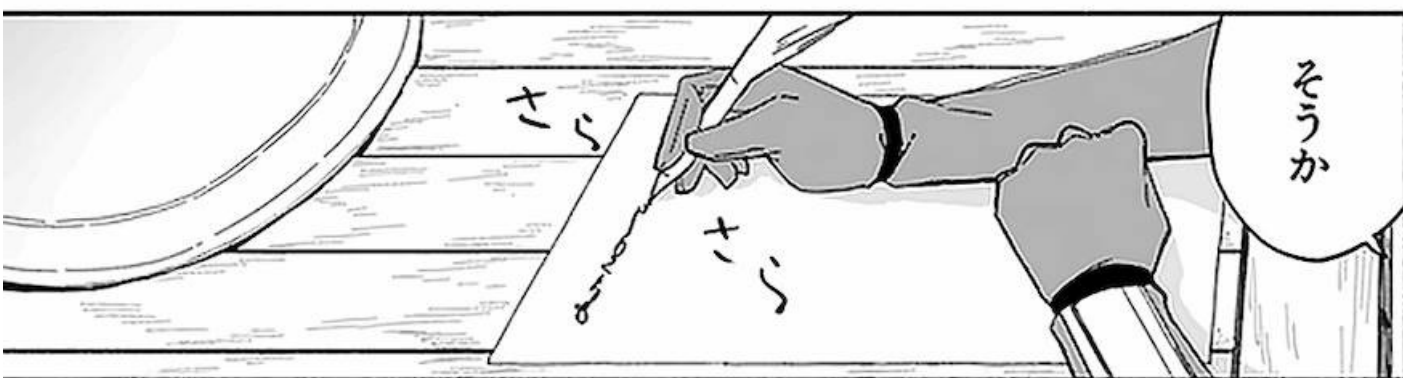
ヨーイチさあが
怖え怖えって
宿の布団に
くるまって



そうか

グラーフは
どうしている？

グラーフちゃんは…



ギルドマスターに
言伝ことづてをな

辺境の優秀な
冒険者が
そちらへ行くので
よしなにと

へっ

優秀だなんて
とんでもねえ！

私らヨーイチさあが
怖くて逃げ帰るような
臆病者ですし…

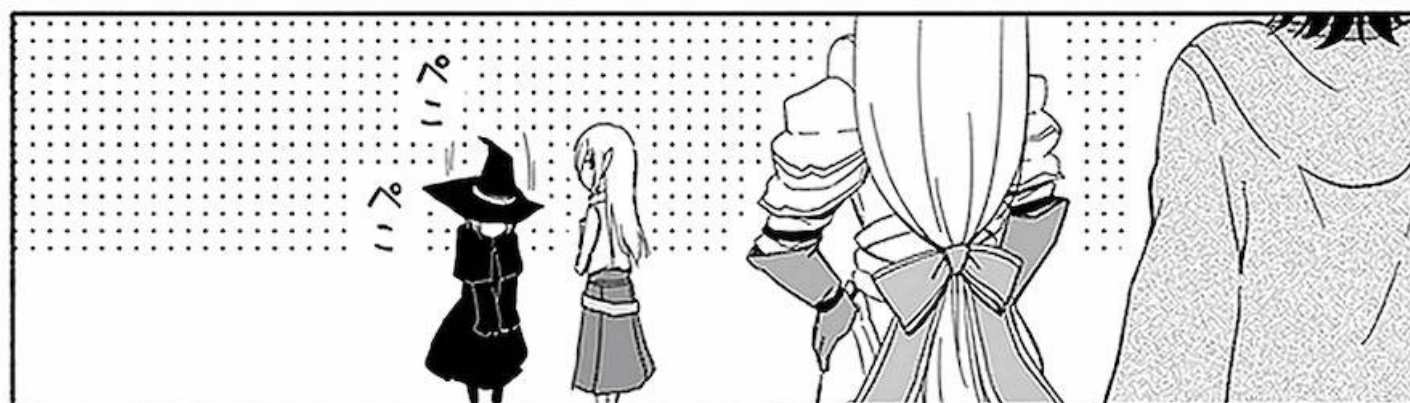
はあ…

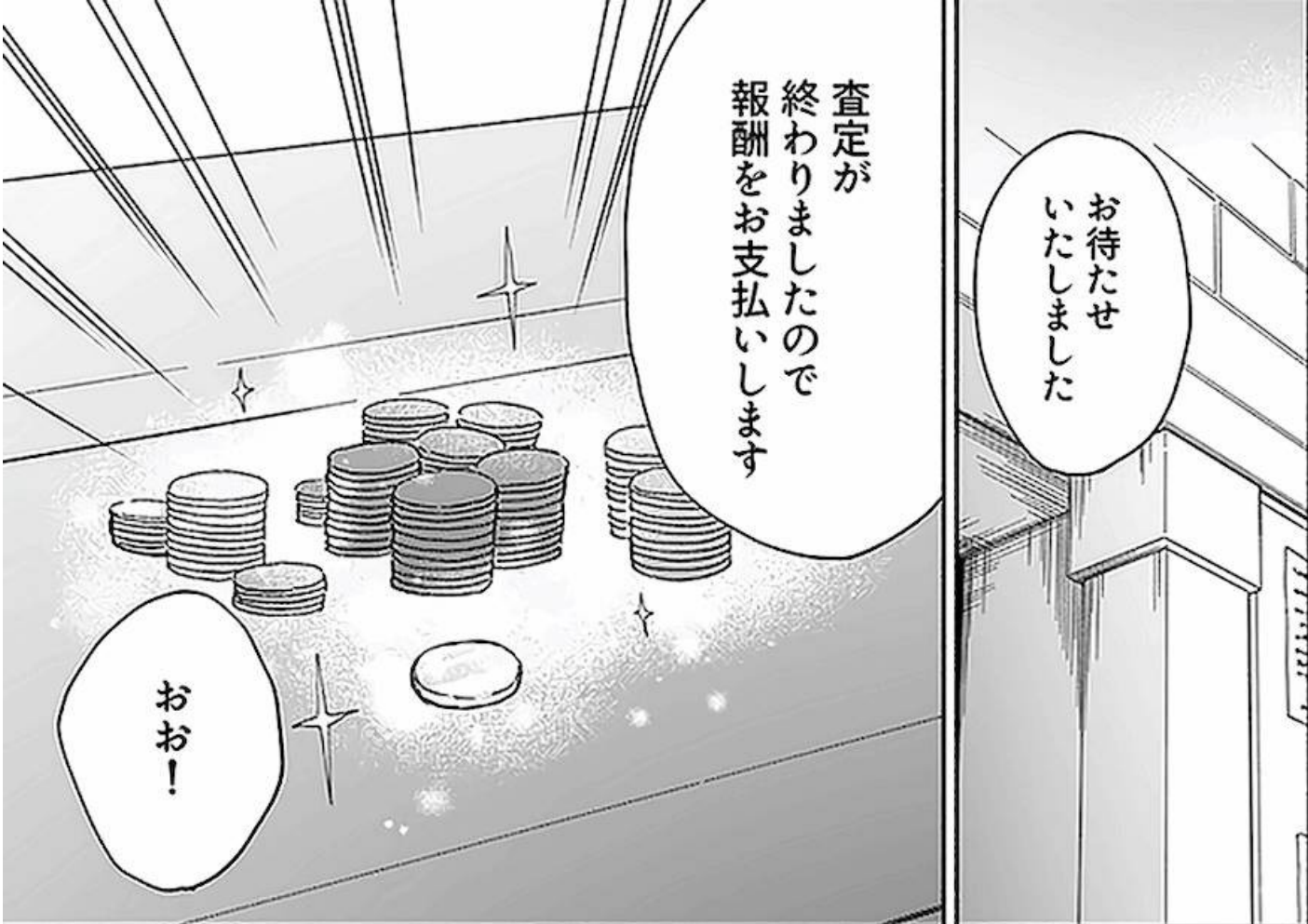
メリルよ

冒険者にとって
もっとも大事な
ことはなにか？

え…つと









試験で
何するんです？

試験用に
用意された依頼を
こなしていただきます

その際試験官が
同行しさまざまな
行動を評価します

なるほど

日程が
決まりましたら
お伝えしますので

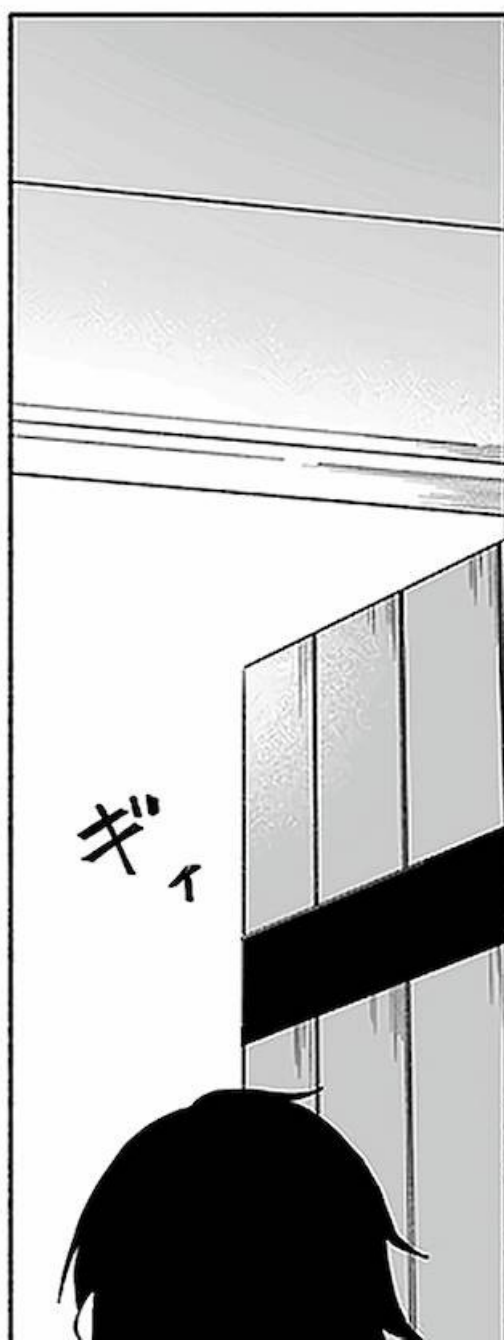
2〜3日に一度は
ギルドへお越し
くださいませ

わかりました

さて――

財布の小銭入れには
ちよつと多いか

こういうの
ファンタジー物だと
巾着みたいなのに入
れてたような……

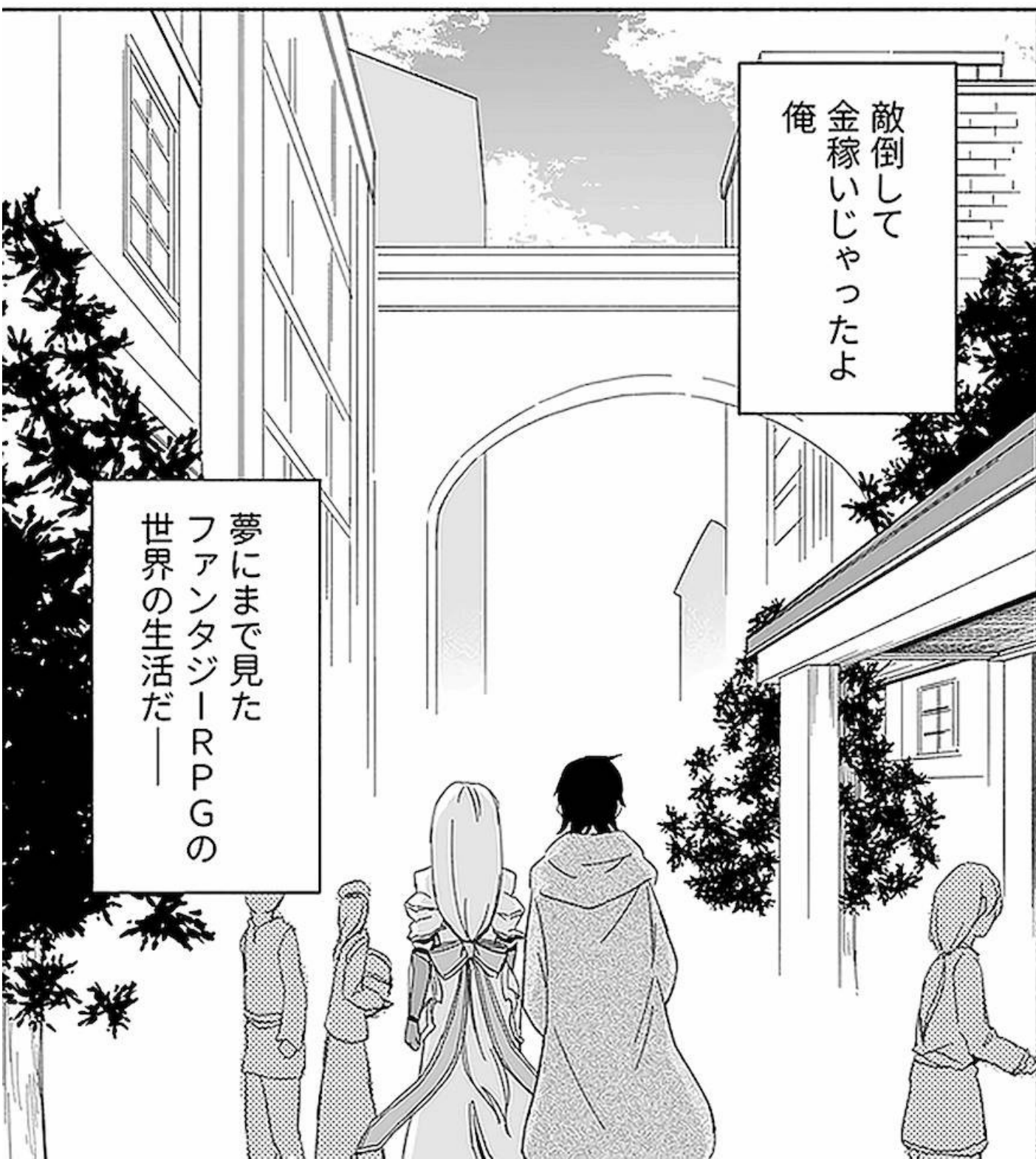


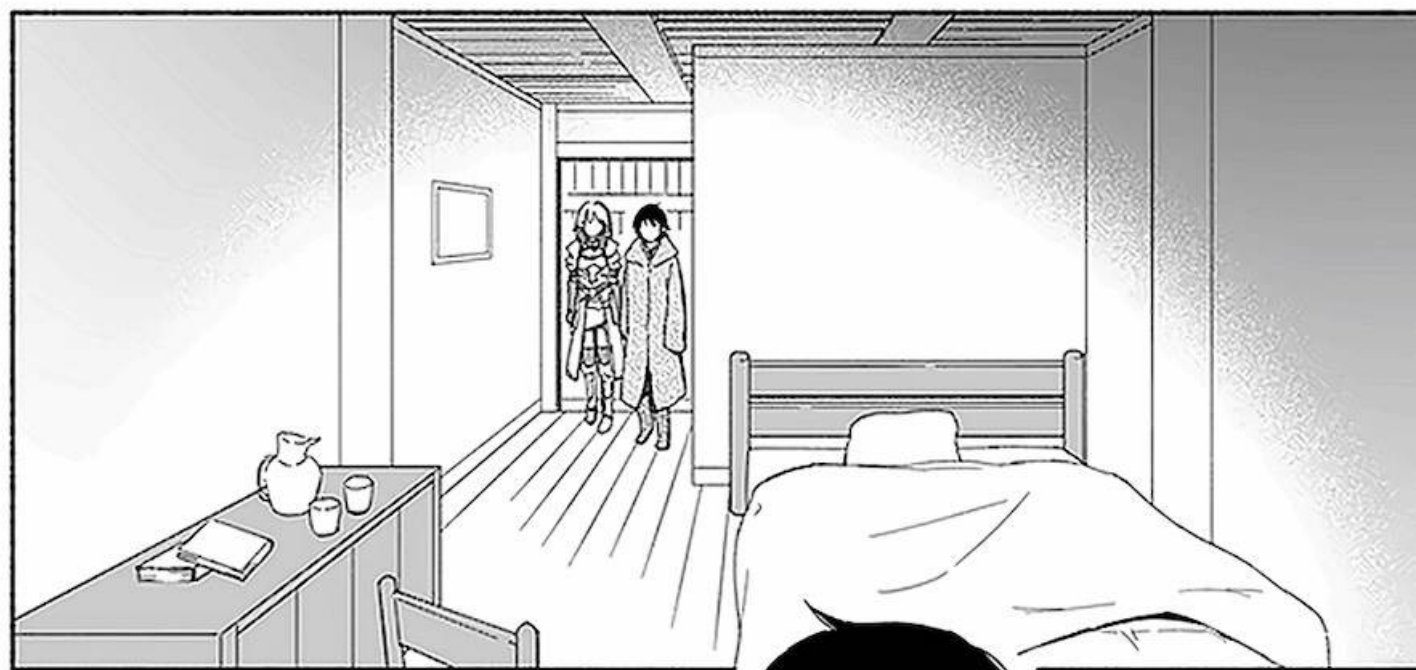
はあ——



敵倒して
金稼いじやったよ
俺

夢にまで見た
ファンタジーRPGの
世界の生活だ——







あいや
そのことで
ヨーチ殿に
相談があるのだが…

何？



もじ

もじ



じゃあ今後の
活動拠点はここ？

それとも
もうひと部屋取った
ほうがいいかな？



寝泊まりは
ヨーチ殿の
部屋でできない
だろうか？

あの
ふかふかのベッドと
広い風呂が魅力的
なのだ…



それは
もちろん
構わないけど

この宿って
寝心地とか
悪いの？

えっと…
そういうわけでは
ないのだが…

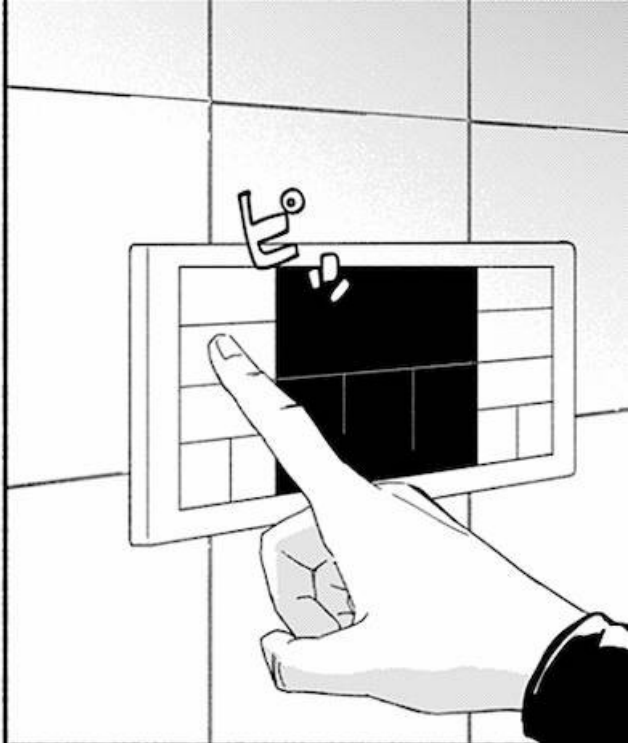


【帰還十】

グランコート
2503号室

結局また
戻ってきたなあ





食事のことも
そろそろ
考えないとなあ

もう少し
落ち着いたら

こちらの世界の
飲食店へアラーナを
連れていこう



アラーナは満足
してるみたいだけど



弁当にも
飽きてきた

それに
あちらの世界の
飲食店も
開拓したい

ピ
ピ
ピ
ピ
ピ

アラーナ
お風呂
先どうぞ

あ…

えっと

その…
一緒に…

あうん

そうだね

そうしょっか







んっんっ

どうだ
ヨーイチどの…
気持ちいいか？

うん

アラリーナの中
すごく締まって
気持ちいいよ

いつでも
出しているの
だからな

んっくっ

パ
チ
ュ

パ
チ
ュ

パ
チ
ュ

あはあっ

んんっ

ズッ

だめっ

私が先に
イキそう…

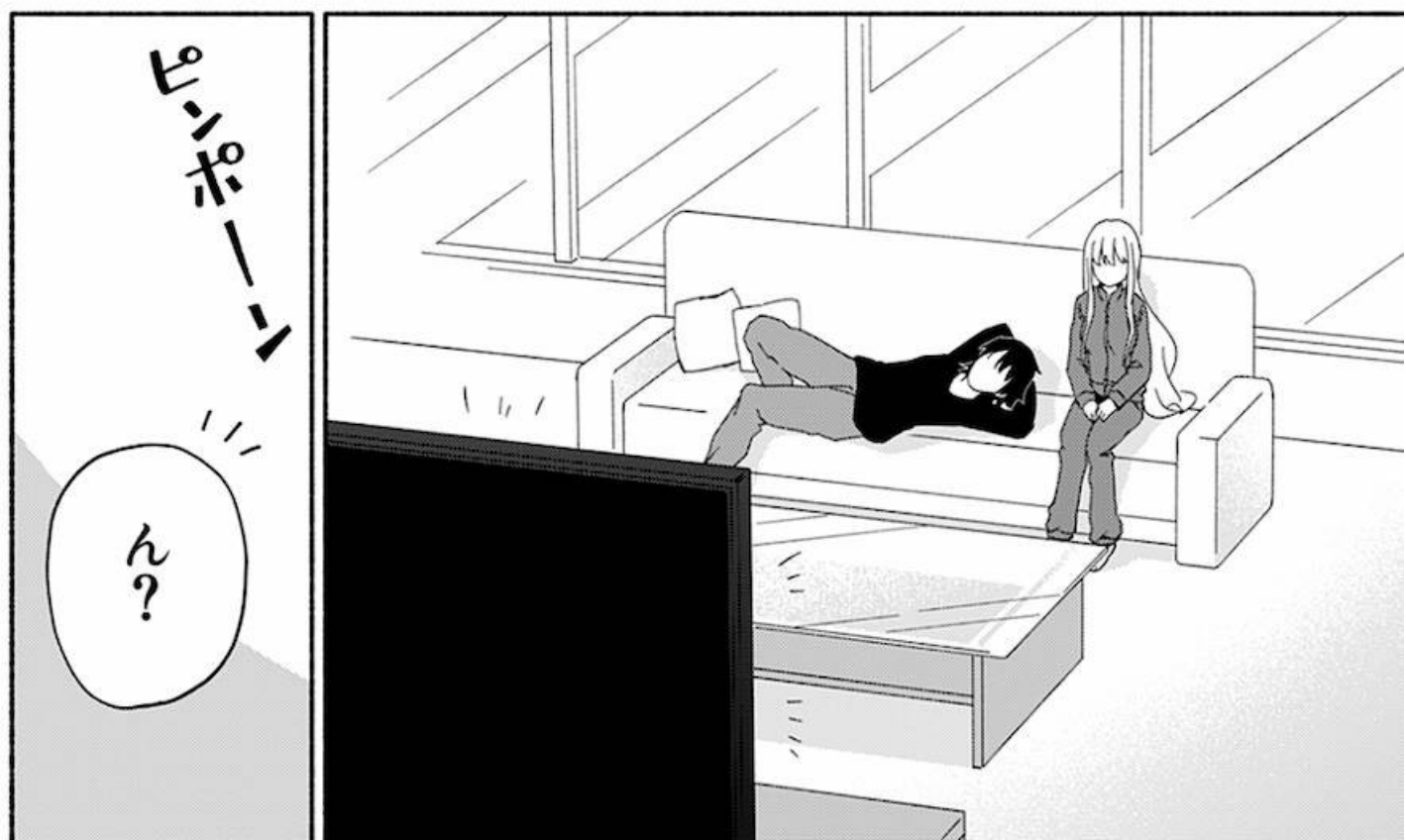
はあ

はあ

大丈夫俺も
そろそろ…

ズッ

ズッ







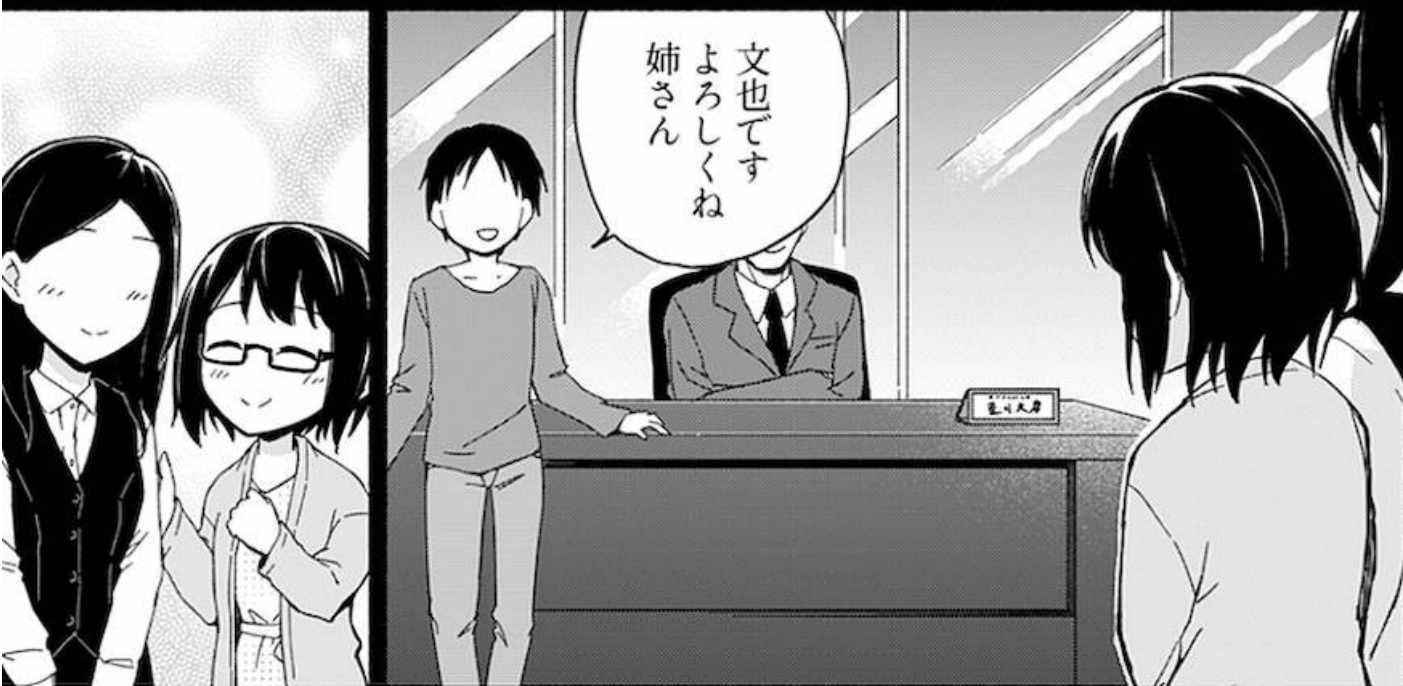
え?

実里ちゃー



ぎゅ
ぎゅ

...ごめんなさい





…いや

やめて…
文也、



ああ姉さん!!

心から
愛してるよ!!

姉さんは
僕だけのモノだ!!

僕だけのために
生きてよ!!









いっそ全部
打ち明けて
みようか

陽一さんなら
受け止めて
くれるかも
しれない





メッセージを
再生します

星川



やだやだやだやだ
やだやだやだやだ

やだ…

やだ
やだ…

義弟の顔は
見たくない

もう
他の男の人に
抱かれたくない

もう
この人のこと以外
考えられない——

実里ちゃん!?

あの仕事が
嫌になったから
俺のところに
きたと？

…はい
ごめんなさい

いやべつに
謝らなくてもいいよ

嫌な仕事を
無理に続けるのも
アレだしね

きれいな人…

迷惑…
ですよ

ああいや
力になりたいと
思うけど…

うちには
アラナも
いるしなあ



迷惑なのは
わかっています

でも
陽一さんと
一緒に
いたいんです

お願いします

なんでもします

ちょっと
実里ちゃん!?

愛人でもなんでも
いいですから
私をここに
置いてください

ヨーイチ殿
ここまで
切実な叫びを
拒絶するのにか?

いやでも…
そのアラナは
いいの…?

私がどうこう
ではなく
ヨーイチ殿が
どうしたいか
だな





ようこそ

実里ちゃんさえ
よければ
いつまでも
いていいよ



いいんですか？

うん
まあ聞いての
とおりだけど



ありがとう
ございます!!



よろしくな
ミサト殿



あらためて
紹介しとくね

実里ちゃん
こちらアラリーナ



あの…
陽一さん



陽一さんも
すごく流暢に
喋ってるので
少し驚いたんですが…

え？！え？！

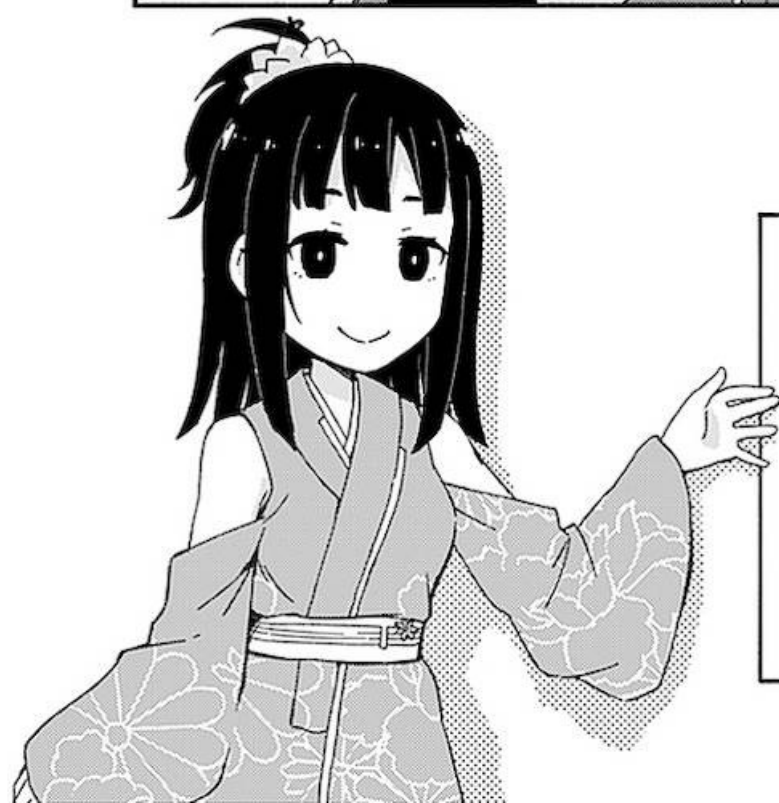


アラリーナさんの
ご出身は…？

英語なら…
ちよつとは
わかるんですけど

その
全然聞いたことない
言葉だし

はい？













じゃあそれを
用意するのが
先決だな



アラリーナ
その意思疎通の魔道具
ってのは簡単に
手に入るものなの？

多少値は張るが
道具屋でもギルドでも
売っているぞ





久しぶりに会ったのだろうか？
なら今夜は私に遠慮せず
ふたりでゆっくり
すごすといい



う…あつ

んっ…

んっ…

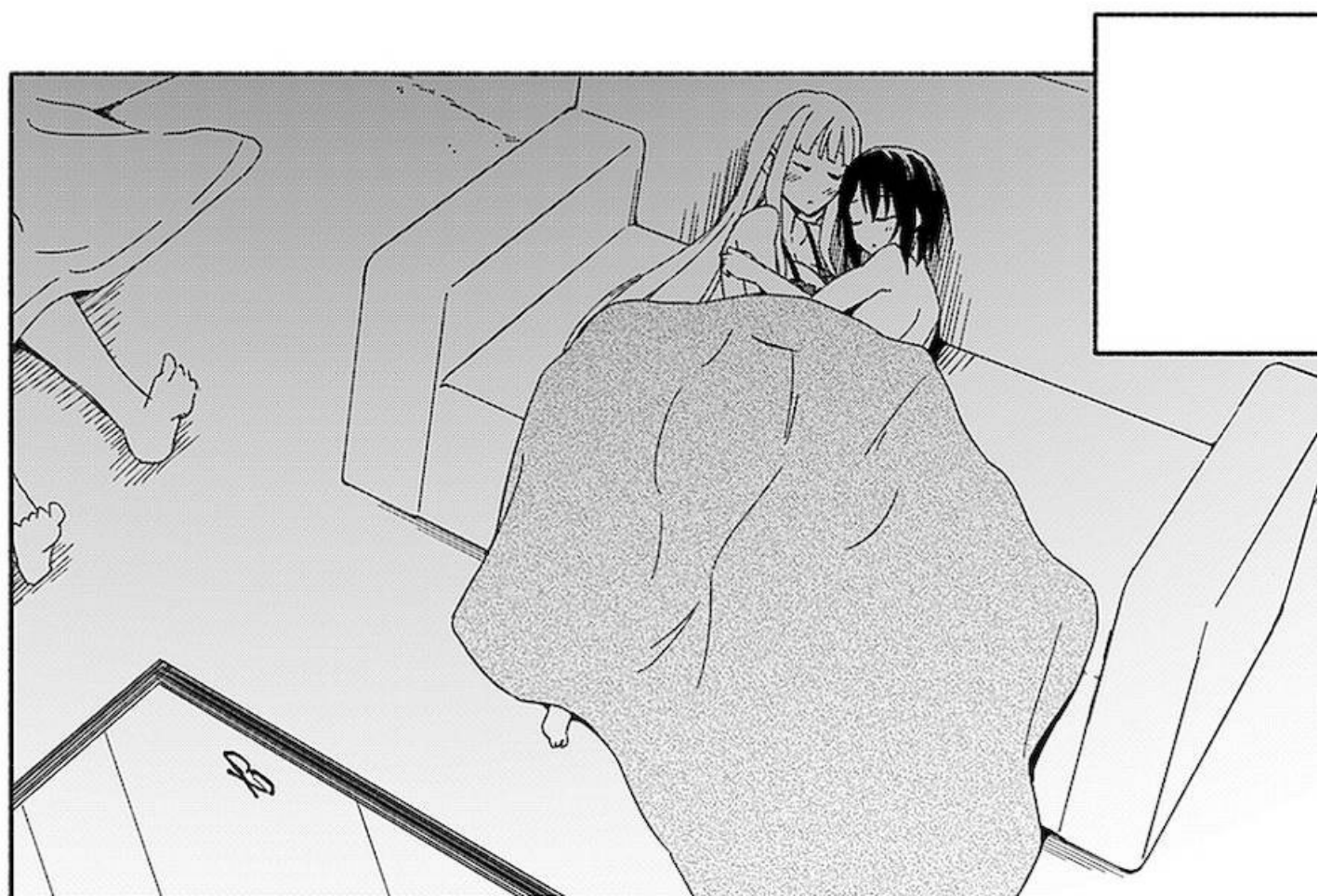
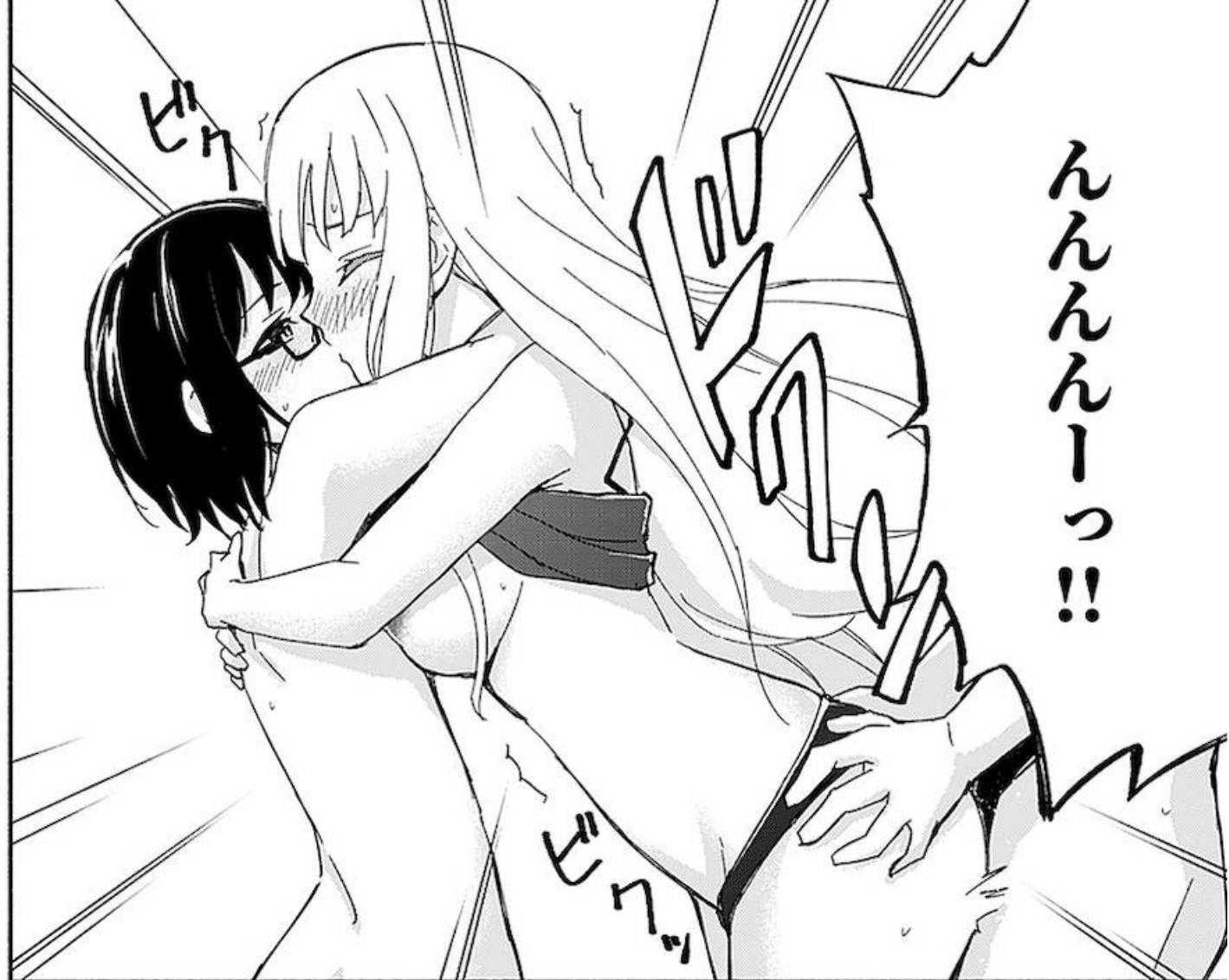
ちゃっ





いいの
アラリーナさんも
気持ちよくなってる？

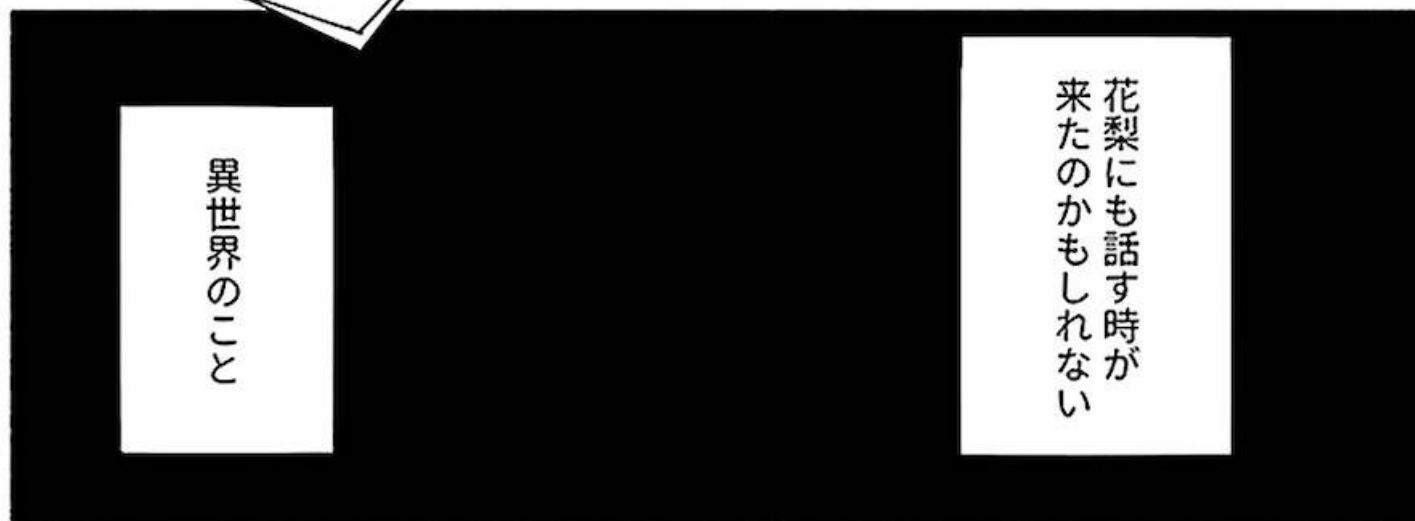












花梨にこれまでのことを話した

あたしも
連れてけー!!

えええ...

あんたにラノベ
教えたの
誰だと思ってるのよ

そういえば
そうだった

まったく
あたしより先に
異世界行ってんじや
ないわよ
陽一のくせに!

なんだよそれ



意思疎通の魔道具



てか
いくらなんでも
すんなり
信じすぎじゃね？

何言ってるの
こんなの渡されたら
信じるしかない
でしょうが



これから
よろしくね

アラリーナちゃん
実里ちゃん

呼び捨てで
いいぞ
カリン殿

私も
実里で

オッケ

じゃああたしも
呼び捨てでね



でまあ
花梨と実里ちゃんを
異世界に連れていくか
だけど…

どうしようか
アラリーナ？

あの…
実里ちゃん…？

何かご不満が？

っーん



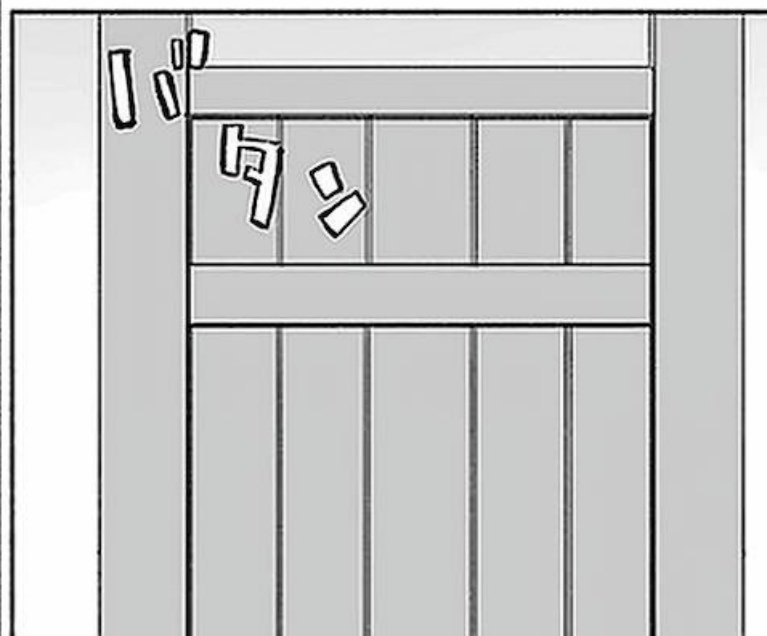


よし
じゃあ異世界へ
行くよ

【帰還+】！

ようこそ
異世界へ

だっていつでも
部屋の中じゃ
実感ないかな？



魔力酔いだな

魔力酔い？

魔力が原因で起こる
体調不良の総称だ

魔力酔いは
強い魔力にあてられた時
一気に魔力を消費した時
などになります

今回はまったく魔力がない
場所から魔力に満ちた場所
に行ったので起こりました

ふたりとも
大丈夫？

さす さす

んもう
大丈夫…

あの
陽一さんは
平気なんですか？

いや平気というか
なんというか…

どうもヨーイチ殿は
魔力を感じることが
一切ないようだな









しかし
なかなかのものだな
ふたりとも

初歩の魔法とはいえ
一度見ただけで
発現するとは

特にミサトの〈灯火〉は
あと数回練習すれば
十分実用に耐える
ものになるだろう

じゃあ
つまり…

ミサトには
魔法使いとしての
才能があると
いうことだな

あたしは？

体内を巡る魔力を
強く感知できる者は
武術系のスキルに
優れていることが
多いのだ

カリンはそっち
ではないかな

武術ね…

ねえ陽一
あたしのあれ
出してよ

あ…おう

【無限収納+】

弓なんて
どう？

おおカリンは
弓術の心得が
あるのか

大学まで
やってたのよね
アーチェリー



ヨーチ殿
いい加減
諦めたらどうだ？

魔力がなければ
魔法は使えんぞ？

いやでもな
俺の身体の中には
管理人さんから
拝借した魔力が…

むしろその管理者…
神のごとき魔力が
強すぎて
まわりの弱い魔力を
感知できないのでは？

強すぎるがゆえに
使いこなせない
ということは
ないだろうか

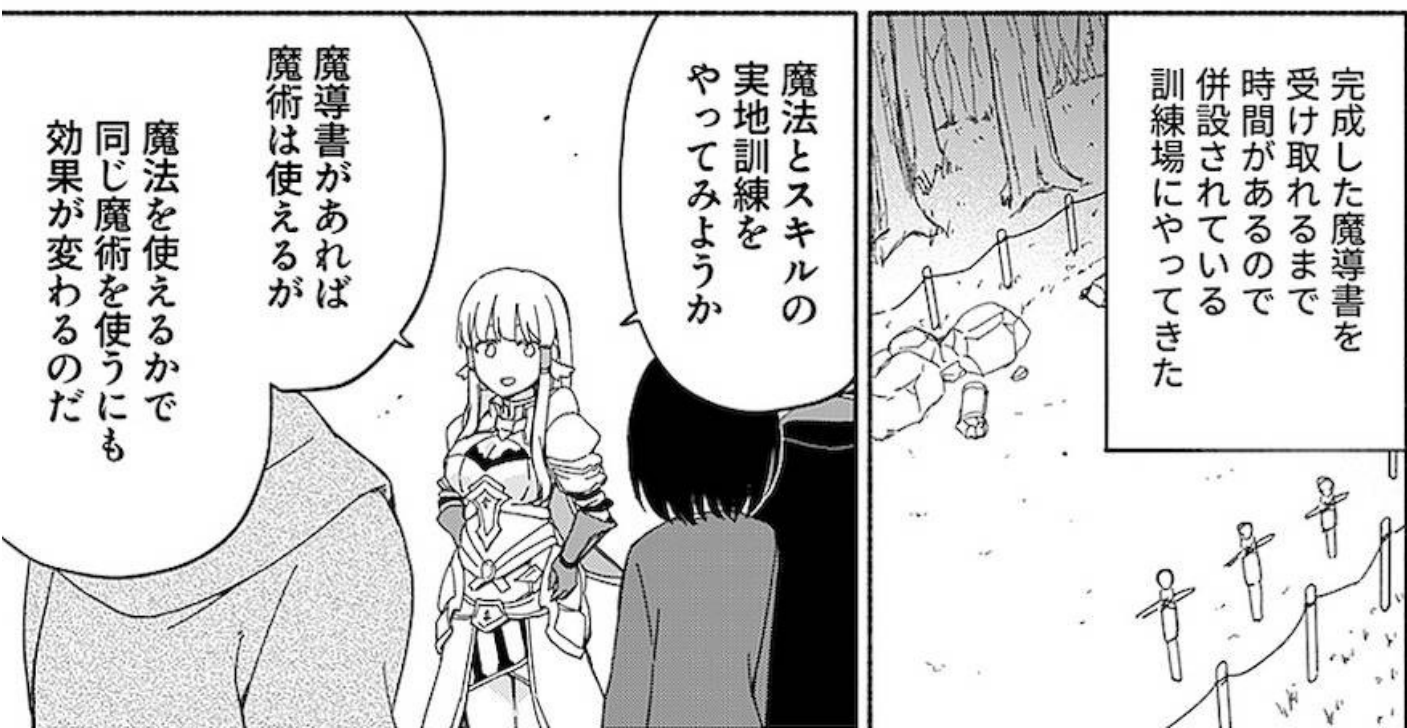
うわー
ありそうだわ
それ

今度会ったら
詳しく問い詰めて
くれよう

まあ
魔術士ギルドに
行ってみよう

魔導書でなら
魔術を使えるかも
しれないから

そうだよなあ
使えるといいなあ





ホ



ゴ





それから実里は
アラーナに
言われるがままに
魔法を習得し

時には異世界に
ない科学知識を
魔法に応用して
周囲を驚かせた

その間
花梨は弓の
練習をしていた

すごいな花梨
こんなうまかつ
たっけ？

……うん
そうだね

ここまで
うまかったら
オリンピック
出てるよ

なんか変なのよ
リリーサーなしの
方がしっくりくるし
手の痛みもすぐに
引いちゃうし

これが
異世界補正って
やつなのかな

あー
どうなんだろう

【鑑定十】で
見てみようか…

なあミサト
本当になんとも
ないのか？

うん
大丈夫
だけど…

魔術より
魔力消費が多い
魔法をあれだけ使って
平気でいられるとは…

あそうだ
ヨーイチ殿

【鑑定十】！

【鑑定】で
ミサトの状態を見て
もらえないだろうか？

ああちようど花梨を
見ようと思ってた
ところなんだ



星川実里

【魔力感知・甲】

異世界を訪れた際
世界に漂う魔力に
さらされたことで習得

【魔力操作・甲】

【魔力感知】習得後
アラリーナ・サリスの
手ほどきにより習得

【魔法の真髄】

【基礎魔法】習得後
いまだ解明されていない
世界の理を元に魔法を
発動し習得したスキル

【健康体＋】

習得経緯を解析中……

本宮花梨

【魔力感知・乙】

異世界を訪れた際
世界に漂う魔力に
さらされたことで習得

【魔力操作・甲】

【魔力感知】習得後
アラリーナ・サリスの
手ほどきにより習得

【弓術】

【世渡上手】での最適化
により元来持っていた
能力がスキルとして発現

【健康体＋】

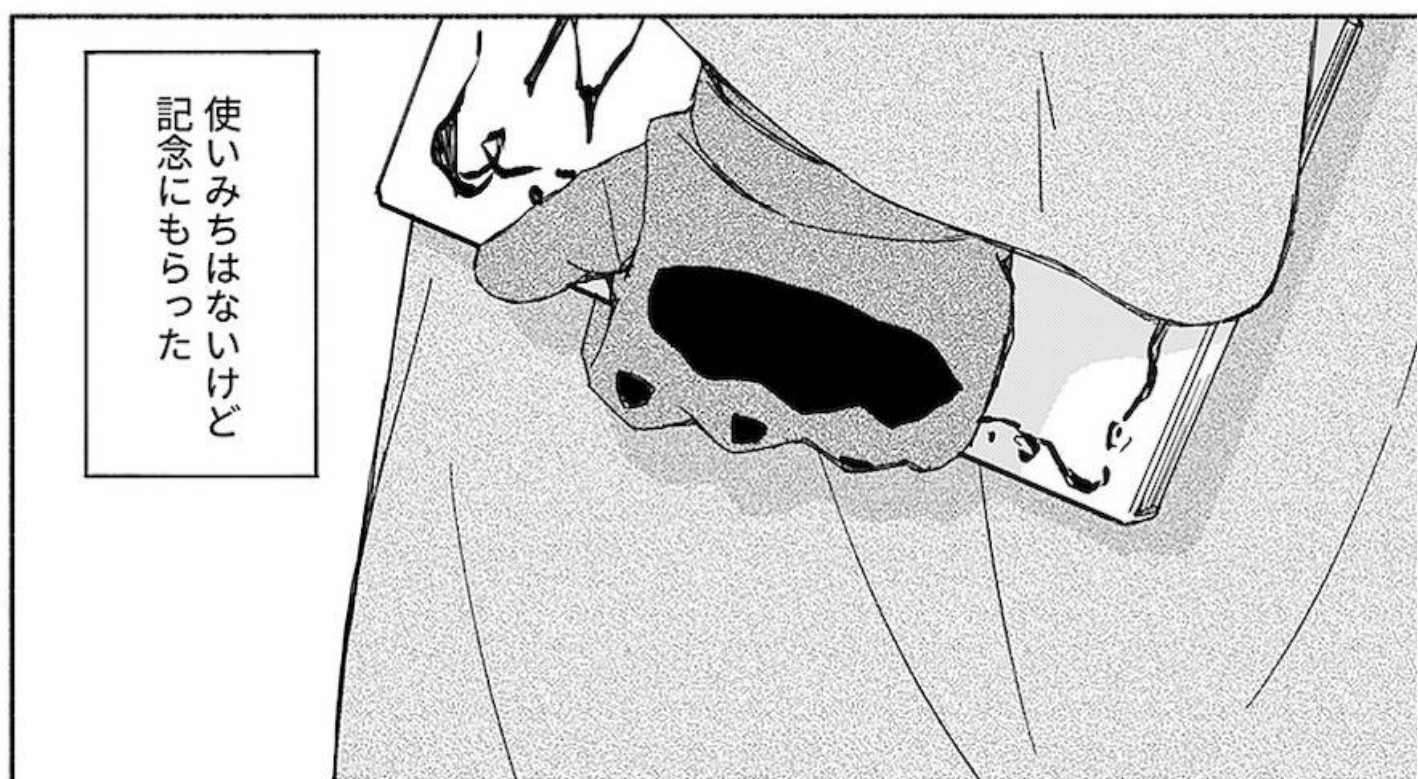
習得経緯を解析中……

…なるほど
【健康体＋】の
恩恵か……

アラリーナ
【健康体】って
スキル知ってる？

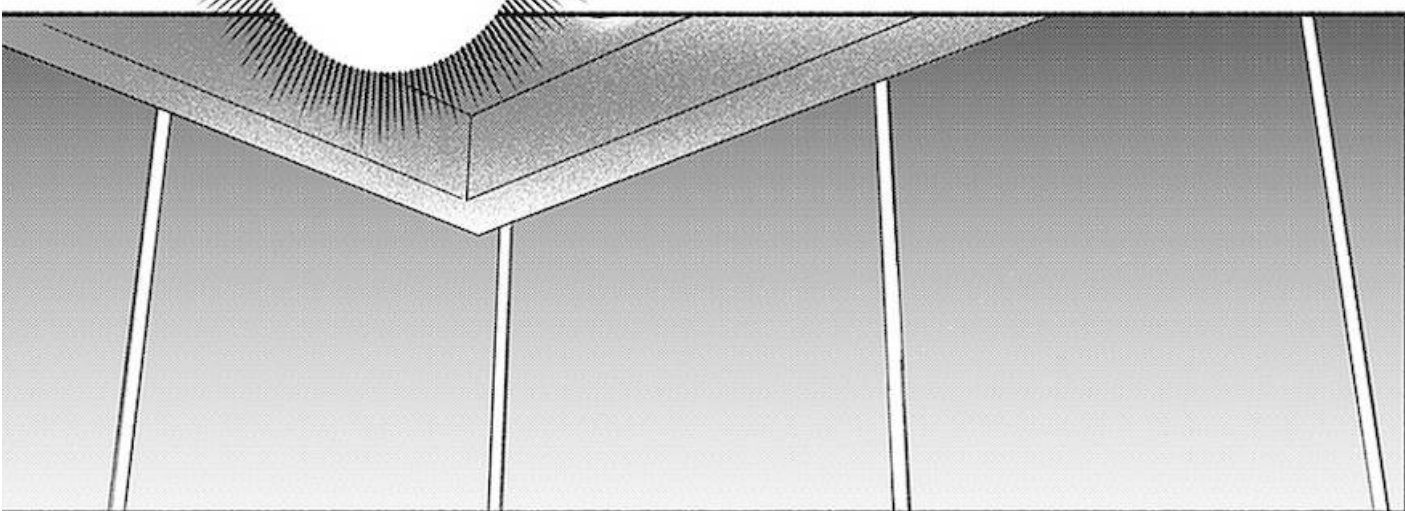
ああ
体力や魔力の回復や
怪我の治癒などを
うながし状態異常に
対する耐性がつく
希少なスキルだが

…まさか？





【帰還+】!



と言われても

私たちはまったく
疲れていないのだが

うん

元気

【健康体+】の効果
絶大だねえ!



さて今日は
いろいろあったし
まだ早い時間だけど
風呂に入って寝ようか

でも今から
何かをするには
微妙に遅い時間
だし…

いやいや
そればかりと
いうのは
どうかな…

もわん
もわん

うーん
じゃあなにを
しようか…

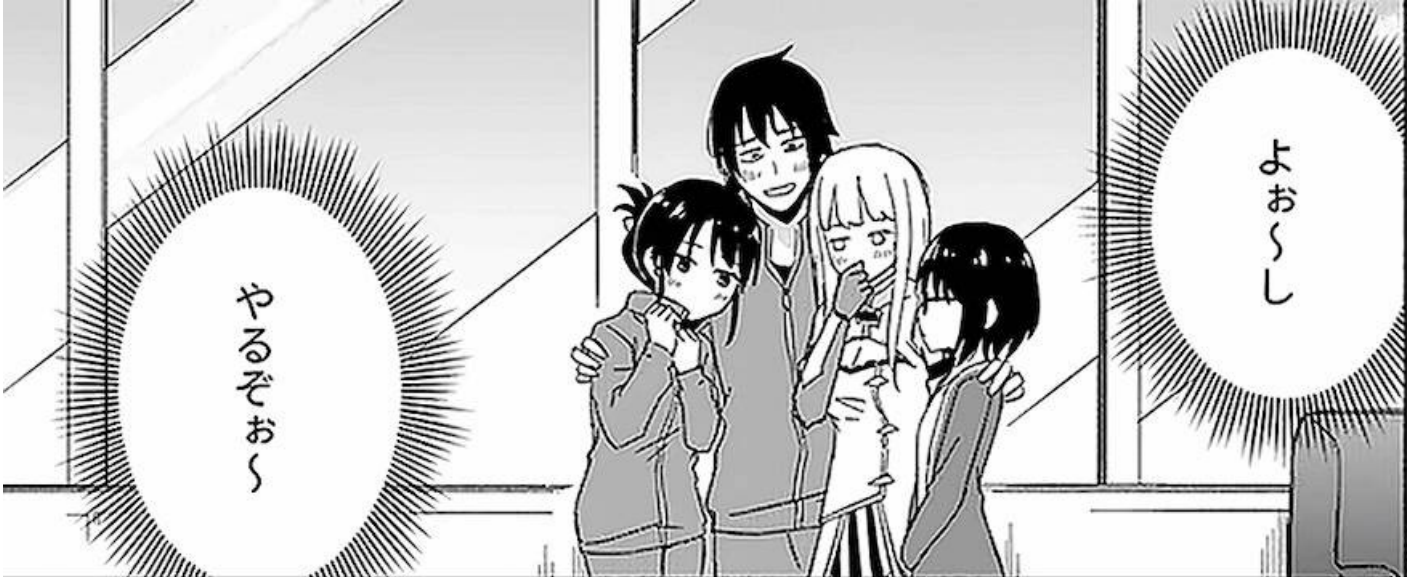
ああたしは
その…いいけど

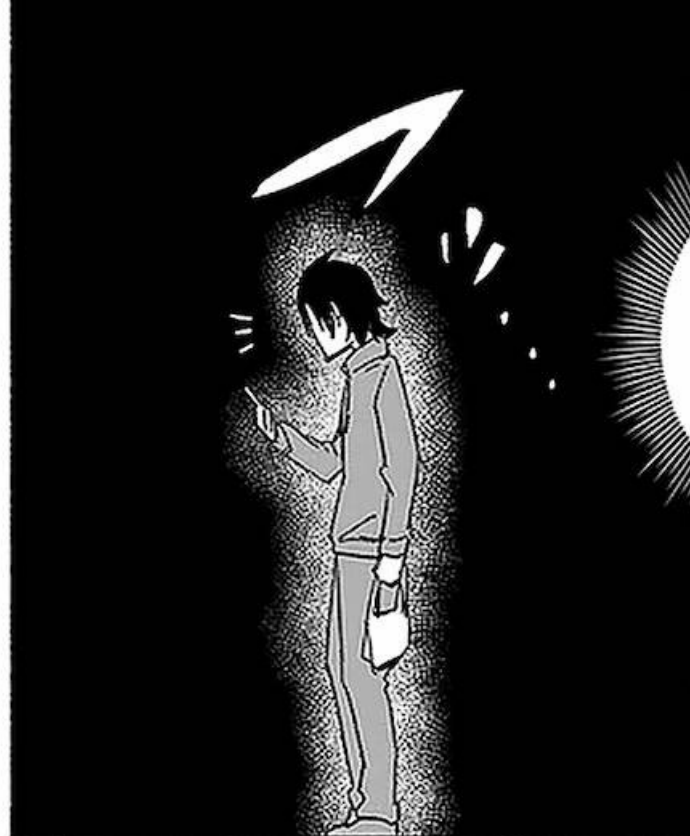
そうだな…
ナニをしようか…

おや？

…私も
いいですよ

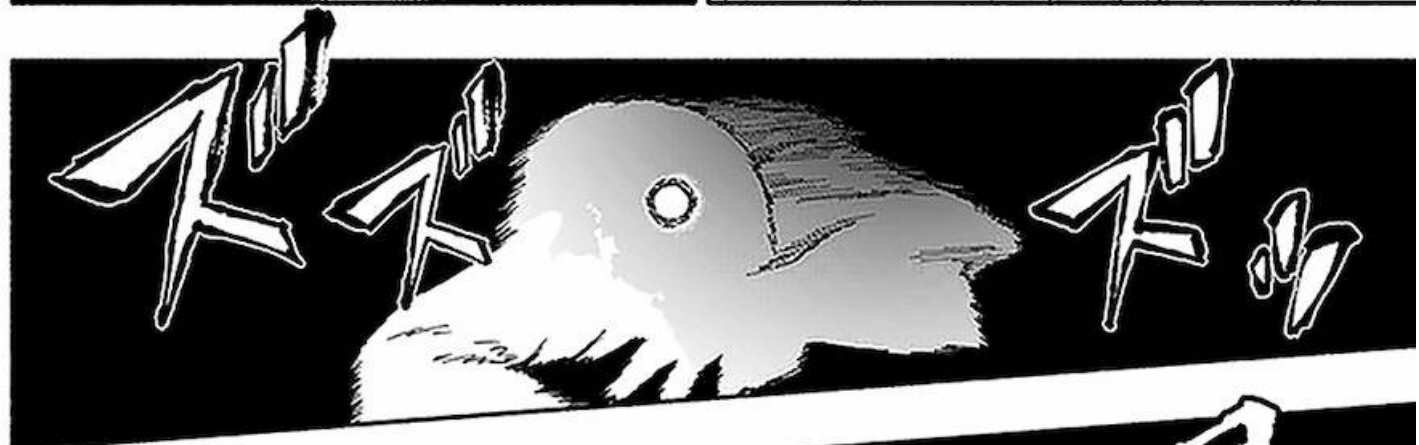






よし5分
びったり

【帰—



たあ
なあ

見い





何をです？

…見ましたよね？



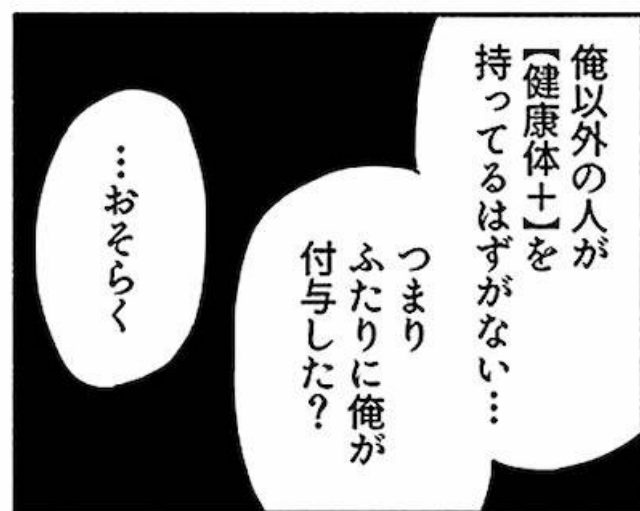
花梨さんと実里さん
それにアラナさんの
スキルを…です

ああ
「健康体十」の
ことですか

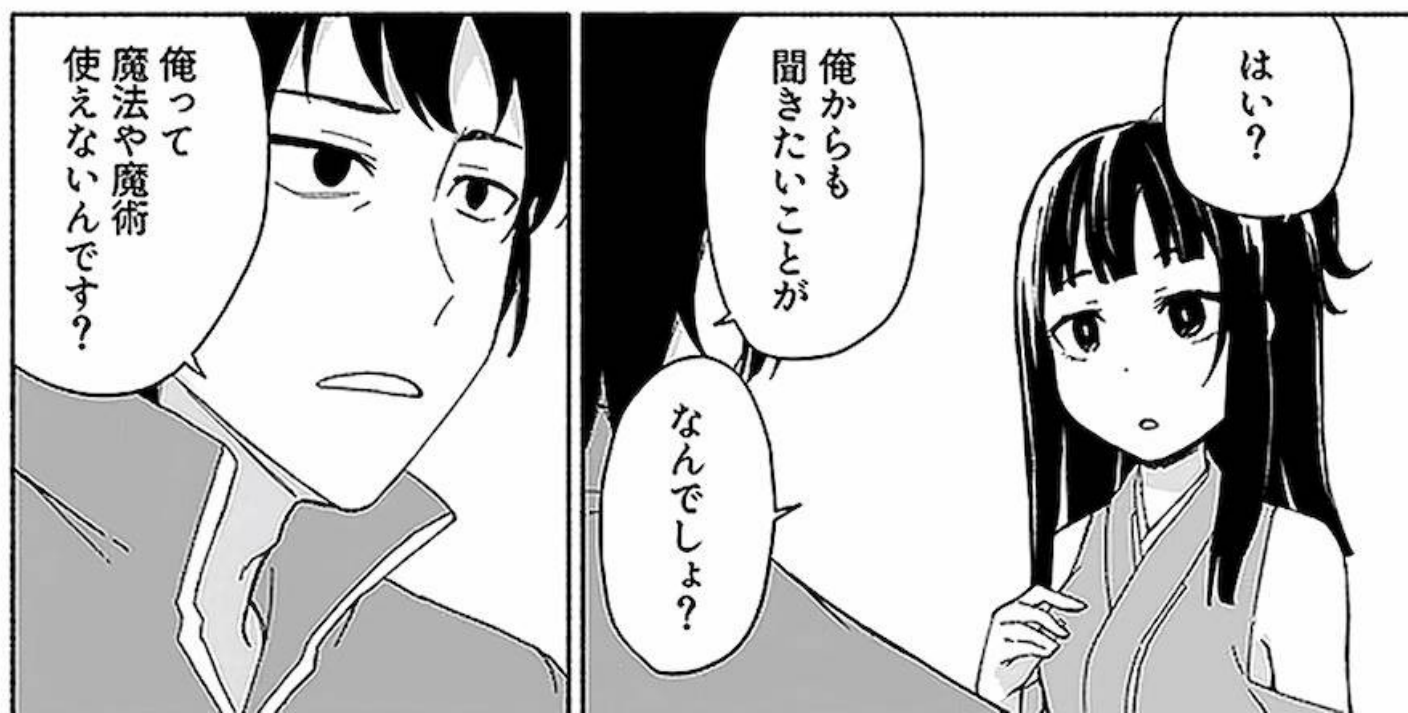
もー！なんで
見ちゃうんですかあー！

なんでって
見えたもんは
仕方ない
でしょうよ

最高レベルの
隠蔽をかけて
たのにー！









もぉーしわけ

ヒッパ

ありませんでしたあー!!

ごっつ
五体投地ーっ!?

じゅわあ

いやべつに
怒ってるわけじゃ
ないですから!
ちゃんと説明して
ほしただけで!

本当
でしゅか...?

これから何を
聞いても
怒りまじえん
があ...?

怒りません!
怒りませんから!



えーと
藤の堂さんは
魔法も魔術も
使えません

使えるようにも
なりません

スキルもこれ以上
自然には
覚えられません

ごめんなさい

それは
強すぎる魔力供給を
受けているから？

はいそうです
私のせいです
ごめんなさい



じゃあ――

代わりに
世界間の行き来は
できなくなりますけど

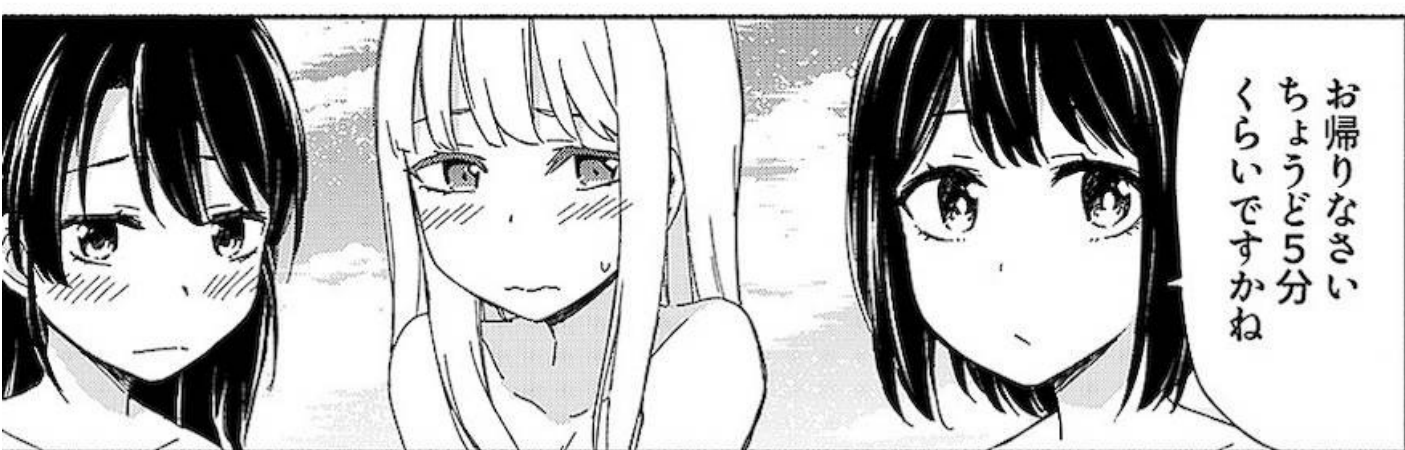
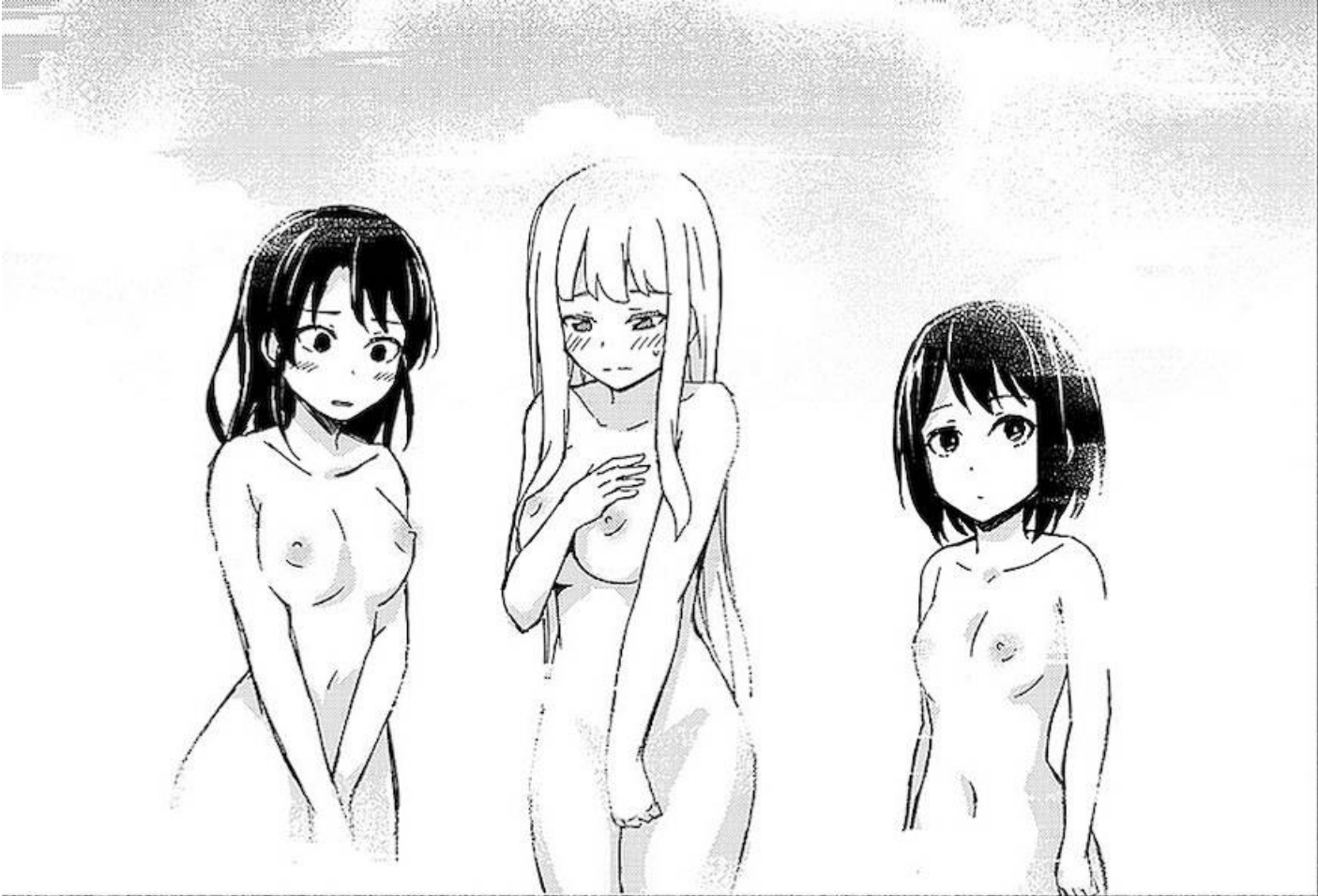
おう…



たとえば
その供給を
停止したら…？

どうなんでしょう
使えるようになる
かもしれないね





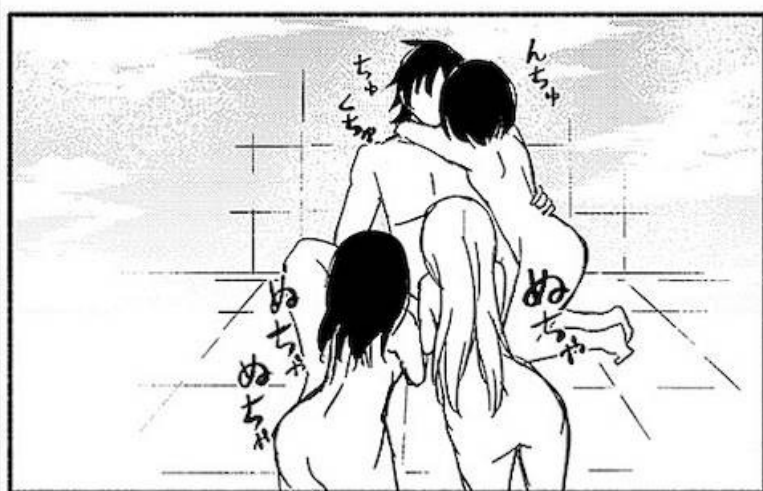


詳しいな...
舌を尖らせて
裏のほうを...

そう...で
ときどき









ちよっとおイタが
過ぎたんじゃ
ないかなあ!?

ががが

ん

ちよ調子に
乗りすぎました…

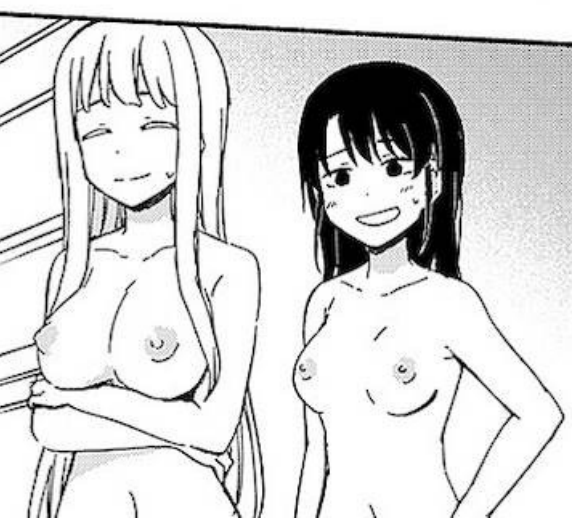
ごめんなさい…

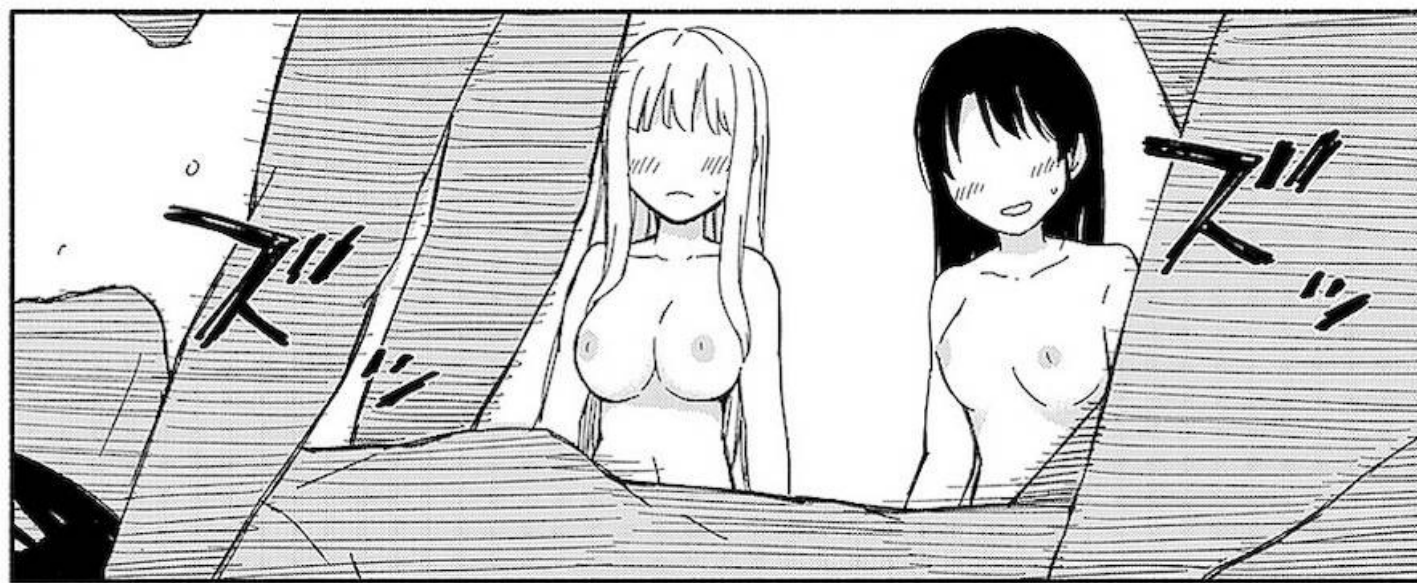
だーめ
悪い子には
おしおきです

ひんひんひんひん!!

グ

グ
め









この町
現実世界を
見てみたい？

ううむ
だめかな？

うーん…

今日は花梨と実里を
冒険者ギルドに
連れていこうと
思ってたんだけど

そそうなのか
であればまた
後日にでも

陽一
あたしは
いつでもいいよ

私も
急がないです

いやそこは
気を使わなくても

アラリーナこそ
気を使わなくても
いいんだよ？

それに
アラリーナと一緒に
この町を歩くなんて
楽しそうじゃない？

そそうかな…？







やれやれ…
招かれざる客
というわけですか

つまりこれは—



フッ



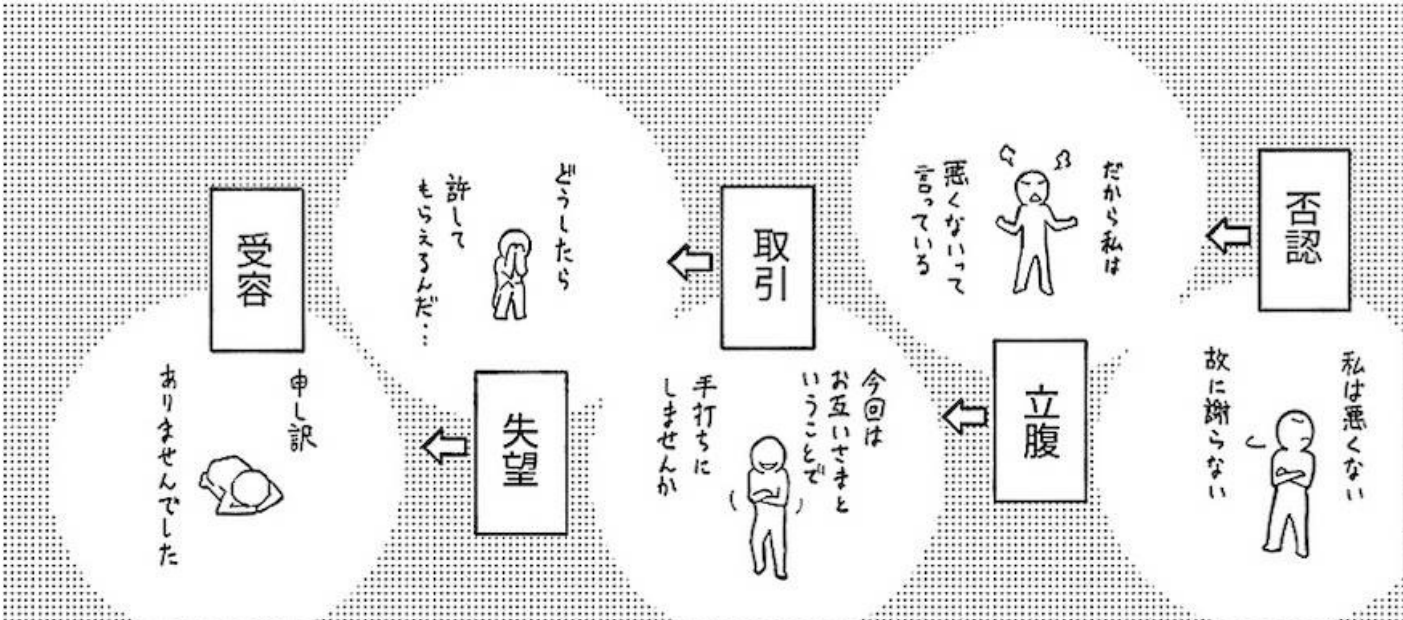
申し訳
ありませんでしたあ!!

あなたを誤って
死なせてしまい
ましたあ!!



いきなり何!?

人が土下座に至る
までにたどる
プロセスは長い



誠意





あの藤のほうの
トウドウさんも
新しい人生を
楽しんでくれると
いいんですけど



ふー

なんとかお許し
いただけて
よかったです



それにしても
同じ名前とは…

今後はもっと
チェックを厳しく
していかないと
いけませんね…

ほんと
ごめんなさい
藤の堂さん



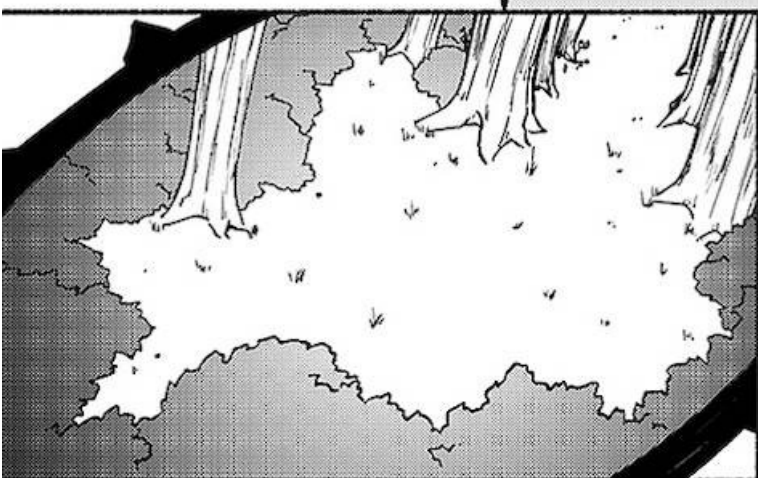
なんだか唐突に
見当違いの感謝を
向けられた
気がします…！



人気嬢を
予約無しで—

この幸運を
神に感謝！

ドキ
ドキ



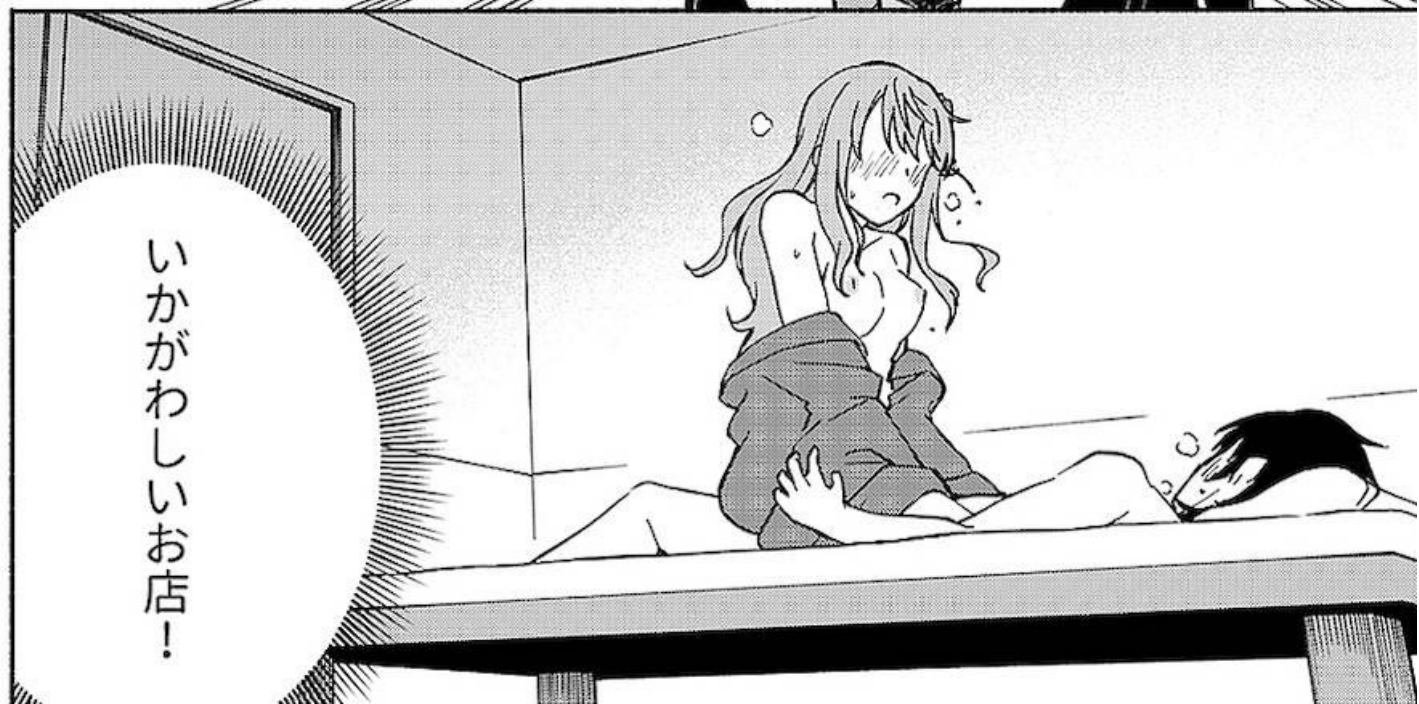
そういえば
藤の堂さん

どのあたりに
転移させたん
だったかしら



あら？

元の世界に
いらっしゃる？





なにやってるんですかあ
藤の堂さん!?



たしかに身体は
完全に修復して
ありますけど!

普通しばらくは
安静にしようと思
うものじゃ
ないんですかね!



生命の危機に
瀕^{ひん}すると性欲が:
ってやつなんです
か藤の堂さん!



藤の堂さん!!

ド
ッ
ド
ッ

ド
ッ
ド
ッ

そもそも
なぜ…

藤の堂さんは
元の世界に…？

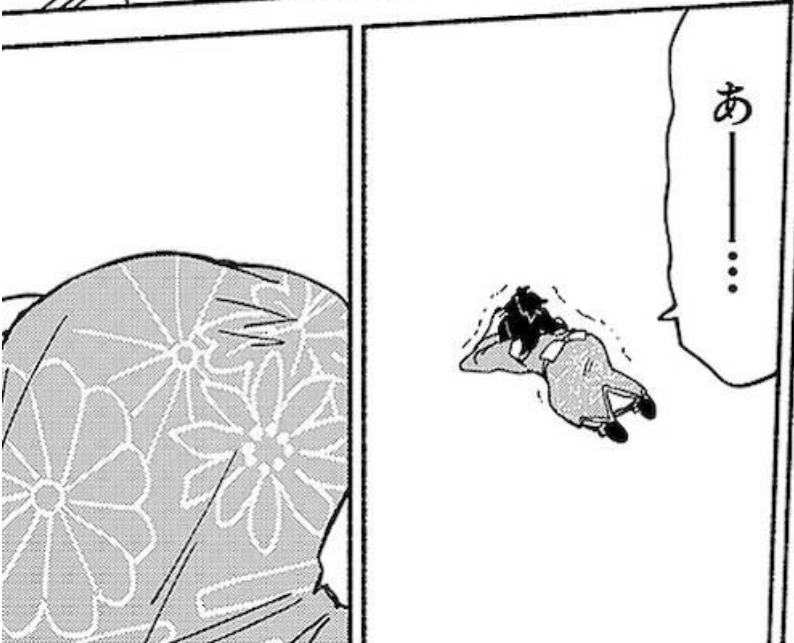
私ちゃんと転移
させましたよねえ…？

身体を修復して…

スキルを付与して…

それから…

ん——…？





土下座しましょう!



別の謝罪方法はないかしら:



私のあふれんばかりの誠意が

短期間に
同じことをして
伝わるのでしょうか



...いや
でもですよ



お好きでしょう？
藤の堂さん



えっちなのが
いいかしら

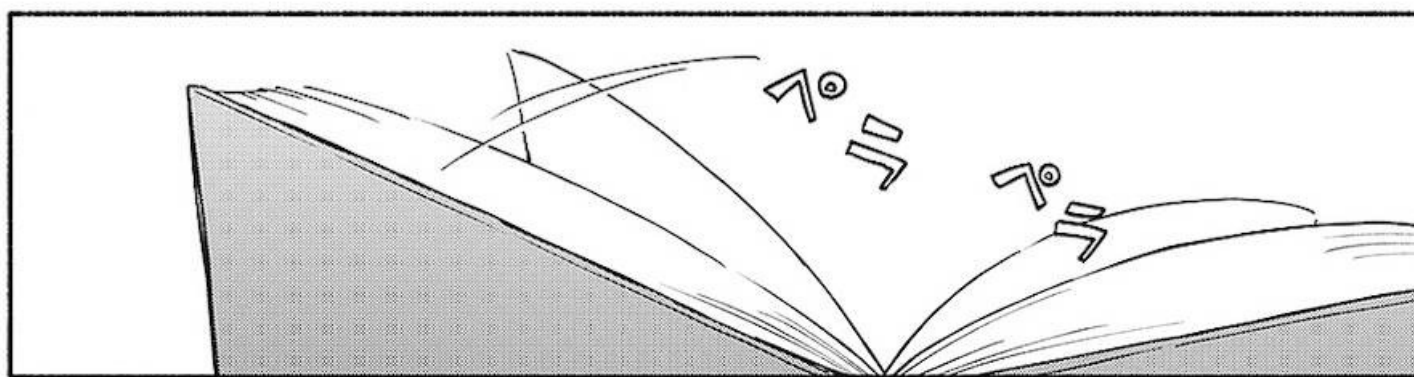


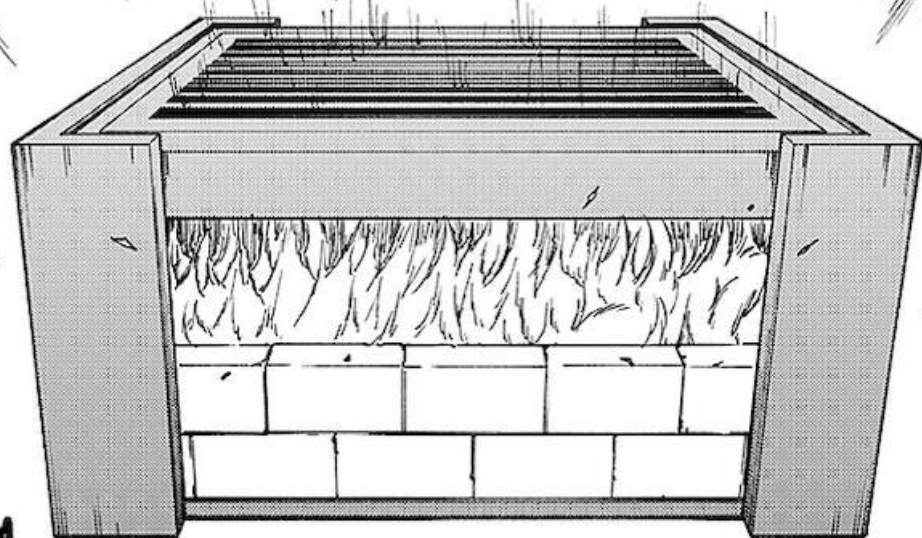
私を管理して
くださいねっ



お詫びに
ご奉仕しますううう

はくっ





ゴオオオオオオオ

熱くない？

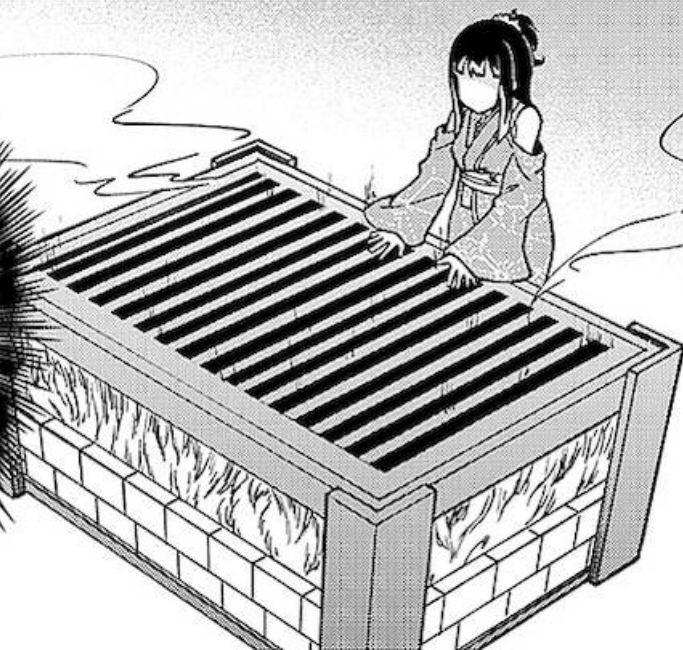


えっ この上で
土下座を…？



ゴ

思っているから
できるはず！



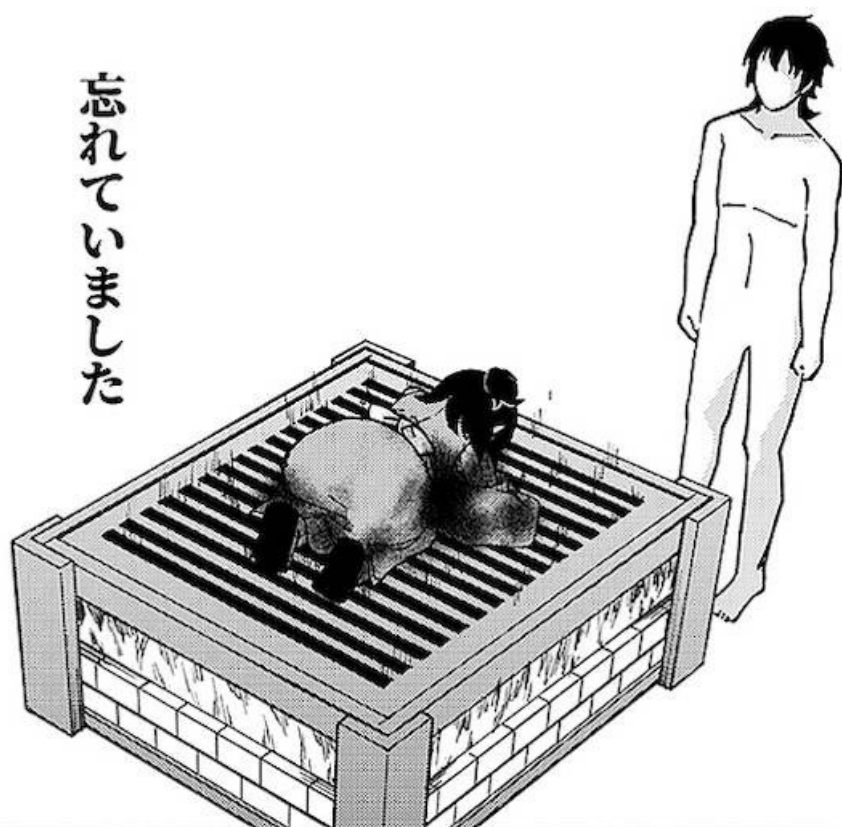
いえ…
本当に心から
申し訳ないと
思っているのなら
できるはず…

オ オ オ



異世界に
転移させるのを

忘れていました



いやあ
私の誠意が
伝わったようで
良かったです！

うーん…

それにしても…



復活早々
お盛んなことで

この人
んまあ全裸

見てたの!?

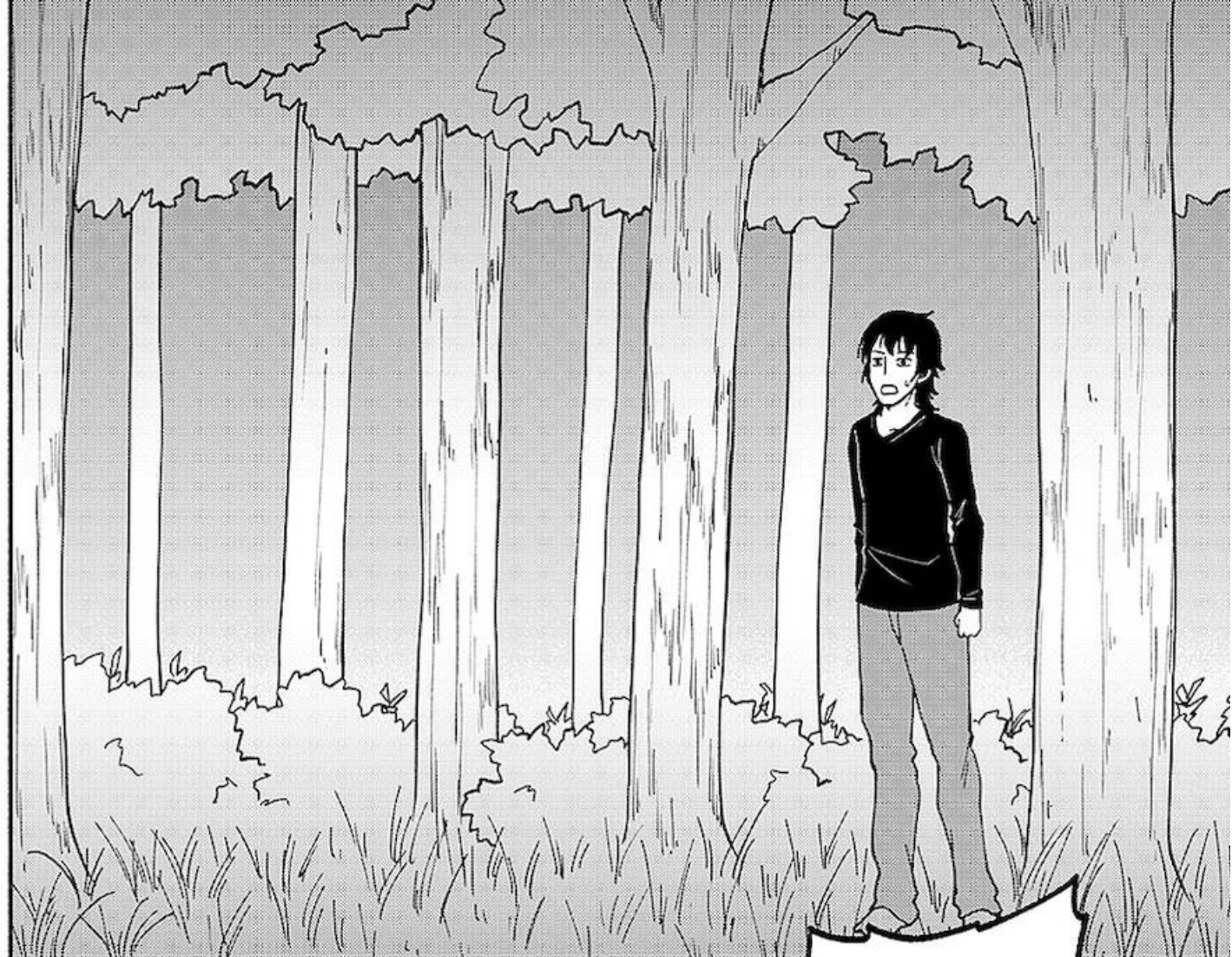
このタイミングで
呼び出したの
こっちですけど

恥ずかしげもなく
惜しげもなく
見せつけて
くれますこと!

ちよっと元気に
なっちゃってんじや
ないですよ!

不可抗力という
やつですよ

ムクッ



って
異世界
行ってるつううう!?

あああああ

ホームポイント
1・ジャナの森

そうだ
ホームポイントの設定
消し忘れてたああああ

うわあああ
キヤ
キャンセルうっ!!

ってそんな
場合じゃないです

空間の固定化を！

えいやっ

元の世界と
異世界とは
存在する次元が
異なってます

その間を
行き来するとなると
時間やら空間やらが
おかしいことにな
ってしまふんですね

藤の堂さんが
キャンセルではなく
再度【帰還+】を
発動させていたら
元の時代に戻れなかつた
可能性もあるんです！

危ないところでした…
まったく
藤の堂さんは…

プンスカ

釘を刺しておく
必要がありますね

でも
まあ…

私のミス
なんですけど

だろうねと
言いたげな顔

まあ私が
そのあたり全部
なんとかしました
けどね！

さすが！
デキる女は
違いますなあ！

えへへ…
そうですね？

そう
私は管理者

有能

勤勉

そして
誠意ある女神



